

平成29年度版

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査

結果と考察



中高生による次世代議会（平成 29 年 12 月 26 日）

神石高原町教育委員会

目 次

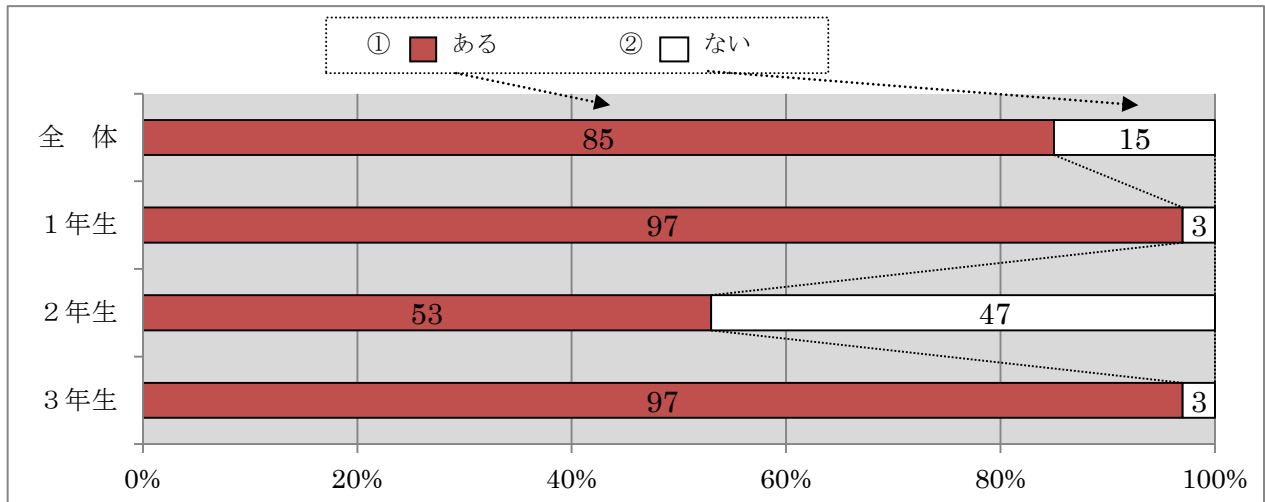
	ページ
I. 中 学 生 編	1 ~ 7
II. 高 校 生 編	8 ~ 13
III. 中・高教職員編	14 ~ 17
IV. 小・中学校保護者編	18 ~ 23
V. 地 域 編	24 ~ 26

回 答 者 数

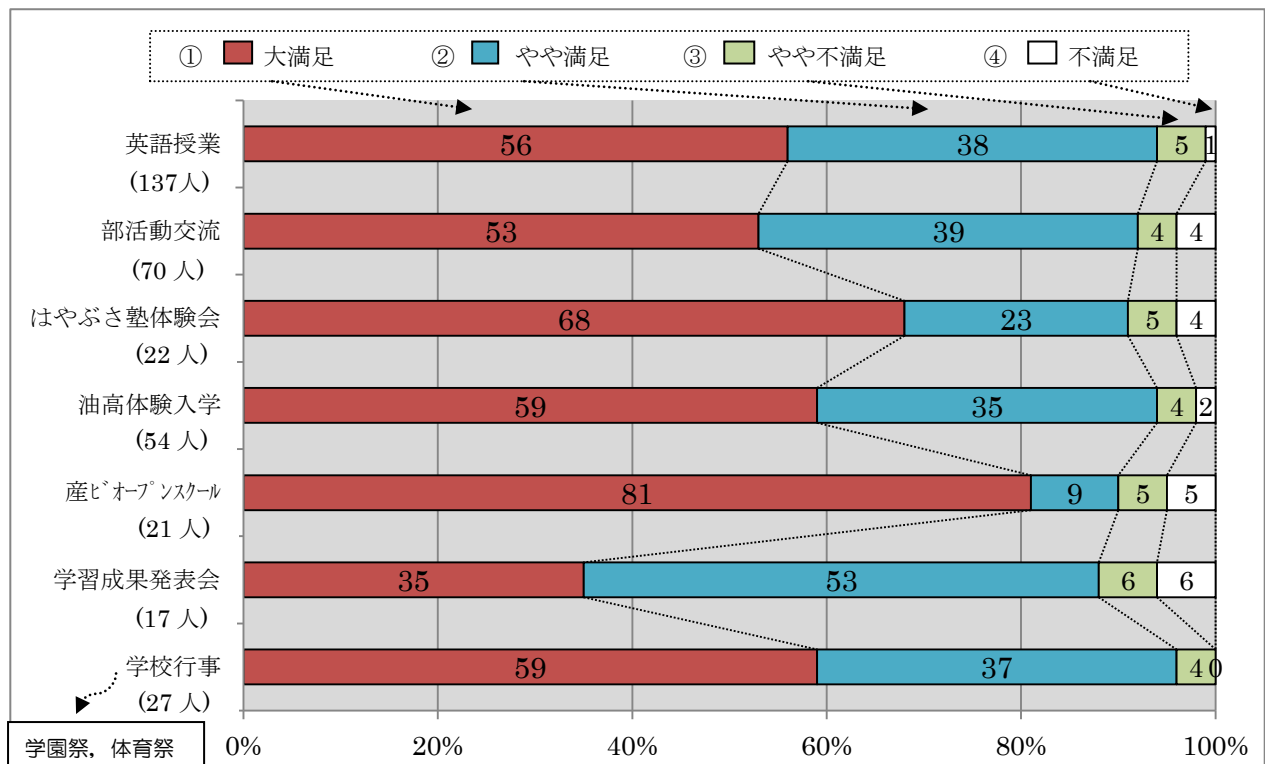
1. 中 学 生	回答者数 <u>169人</u> / 在籍者数 178人
2. 高 校 生	回答者数 <u>182人</u> / 在籍者数 186人
3. 中・高教職員	回答者数 <u>44人</u> / 全教職員数 50人
4. 小学校保護者	回答者数 <u>165人</u> / 対象児童数 174人
5. 中学校保護者	回答者数 <u>138人</u> / 生徒総数 180人
6. 地 域	回答者数 <u>70人</u> / 質問者数 102人

I. 町内中学生に係るアンケート調査の結果と考察

1(1) あなたは本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導を受けたり、行事に参加したことがありますか。



(2) 上記(1)の質問で「① ある」と答えた人で、それはどうでしたか。

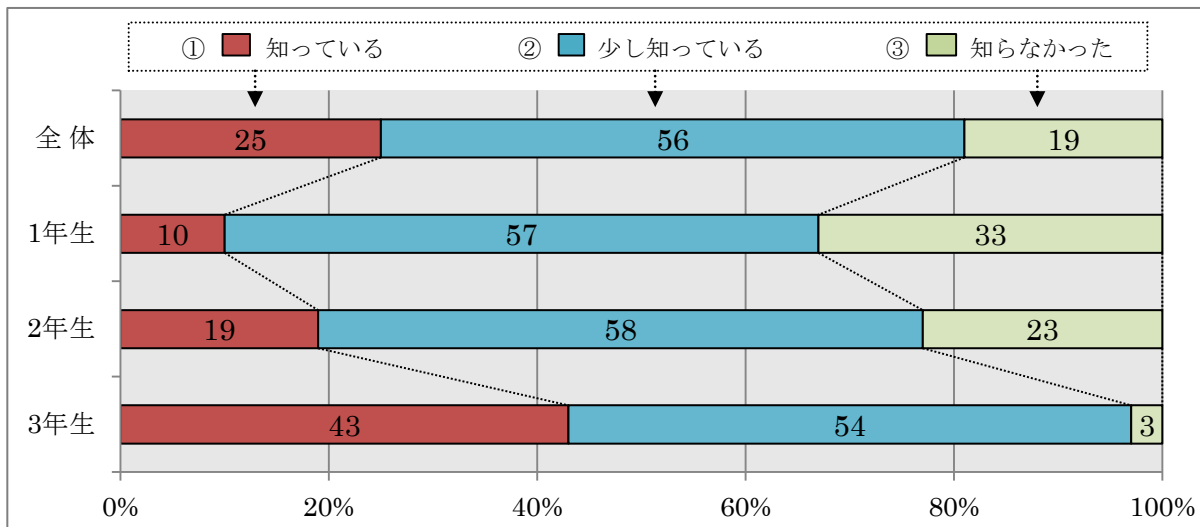


考察 「定例的な英語の交流授業」は学年によって未実施の学校もあり、油木高校との連携教育活動は85%の生徒が実施している。その中で、最も参加人数の多い「英語」の授業満足度は94%が「大満足・やや満足」の高い肯定的評価である。今後も一層効果的な交流授業を実践していくために、授業研究やアンケート調査などが計画的に実施され、生徒の満足度を高めていく取組がなされることを期待している。

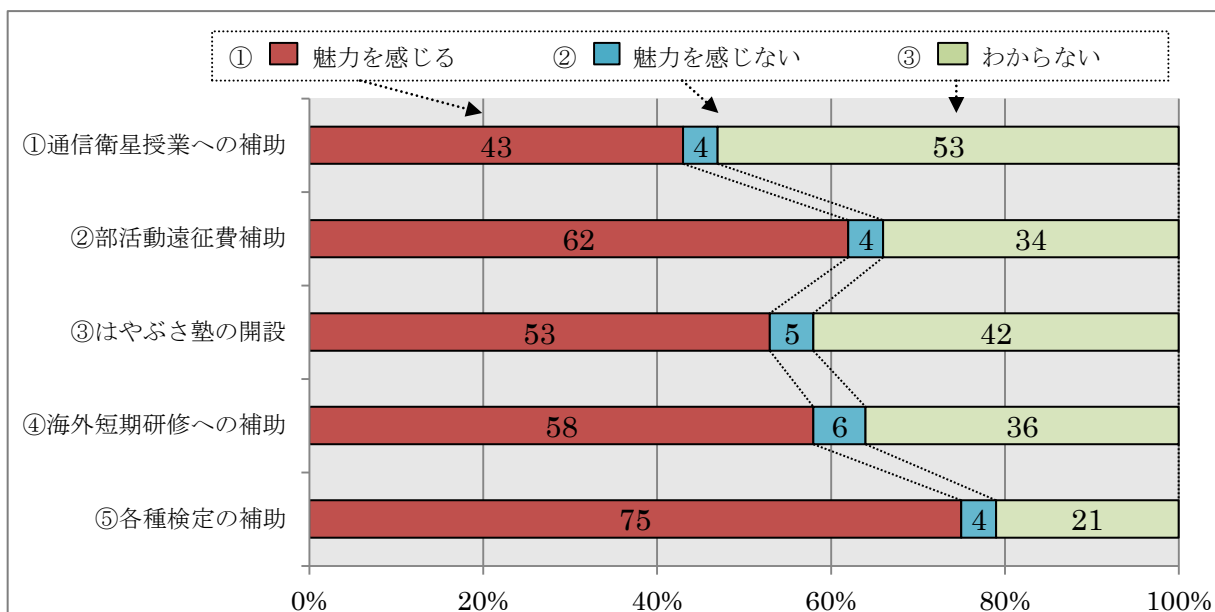
その他の項目（部活動・はやぶさ塾・3年体験入学・産ビオープンスクール・学習成果発表会・学校行事）においても、約85%以上の高い肯定的評価であるだけに、今後も積極的な連携教育活動を展開していく必要がある。

② 神石高原町では「油木高校の魅力づくり」として、色々な支援（通信衛星授業の受信補助・部活動遠征費補助・学習支援塾「はやぶさ塾」の開設・海外短期＜語学・農業＞研修事業への支援・英語検定受験料補助）を実施していますが、そのことについて次の(1)～(6)の質問に教えてください。

(1) 油木高校への色々な支援内容について知っていますか。



(2) 次のような支援（① 通信衛星授業への補助 ② 部活動遠征費補助 ③ はやぶさ塾の開設 ④ 海外短期研修への補助 ⑤ 英検受験料の補助）についてどう思いますか。

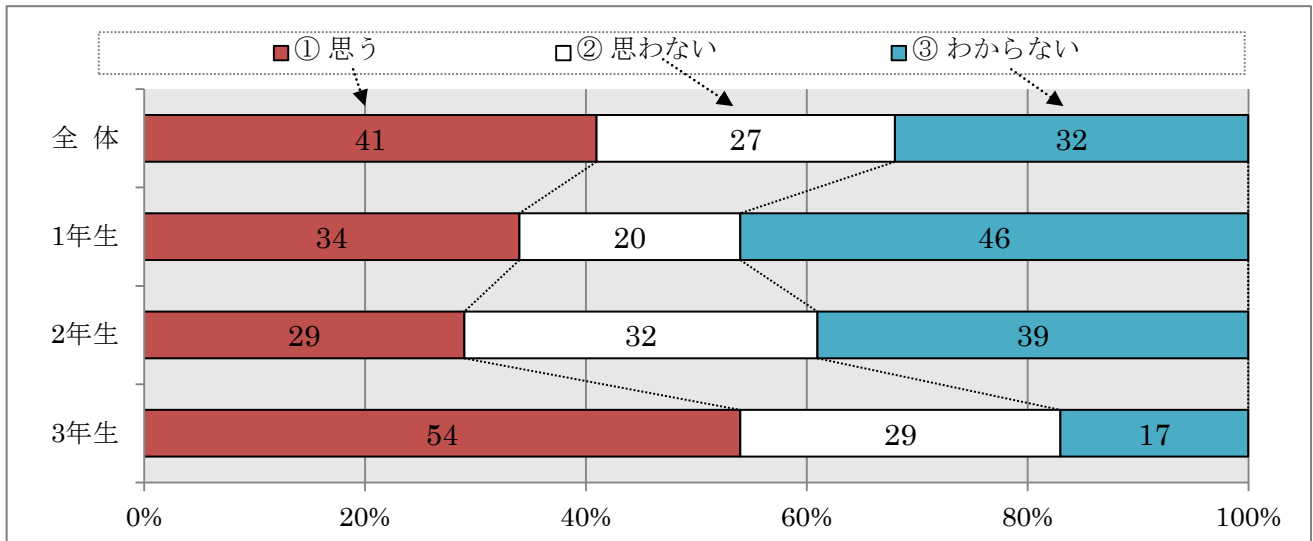


考察 ・支援内容の認知度は、高学年になるほど「知っている」率は高くなっているものの、「知っている」とははっきり言える数は半分以下で、この支援内容は「油木高校の魅力」でもあるので、十分理解してもらうことが重要で、引き続き理解度を高めていくための情報提供（10の支援リフレット）が必要である。

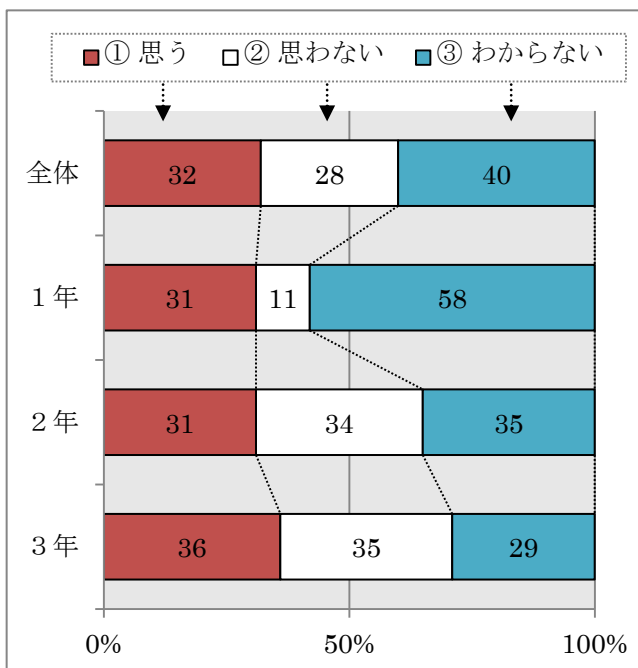
・支援内容の評価としては、「魅力を感じる」が「通信衛星授業への補助」以外は50%以上を占めている。一方「わからない」とする回答も多くある。中3生には高校説明会や「はやぶさ塾体験会」「海外短期研修報告会」などが実施されており、学年ごとに見た時、どの項目も中3生の約70%は「魅力を感じる」と回答していた。

③ (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

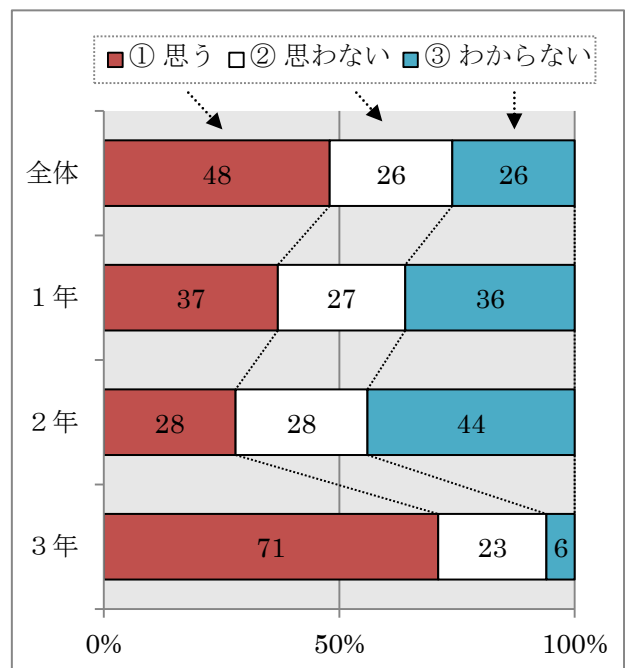
< 2校全体では >



< 三 和 中 >



< 神 石 高 原 中 >



考察 ・ 2校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は41%（前年40%、前々年49%）で、前年とほぼ同じ。また「思わない」も27%（前年28%、前々年19%）で、これも前年とほぼ同じであった。

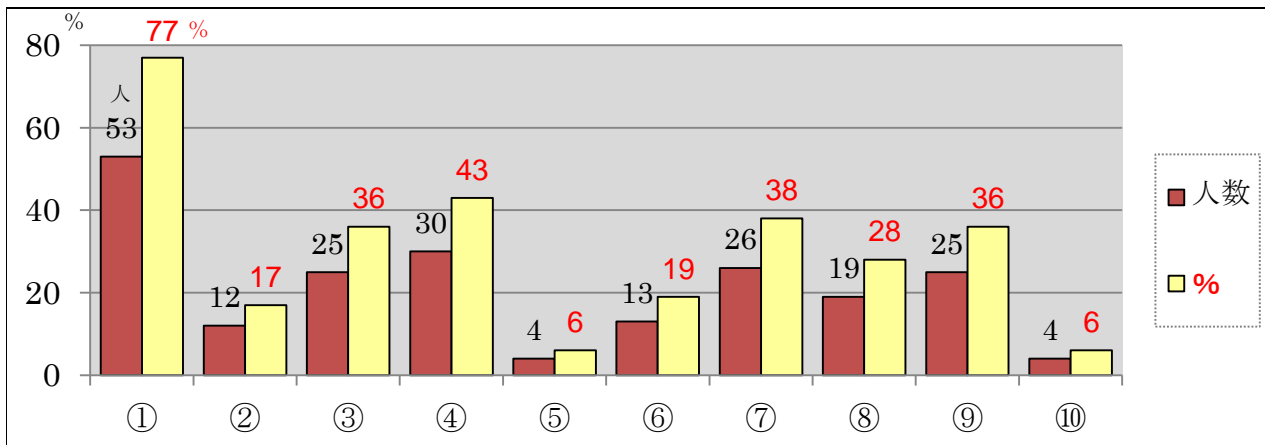
・ 全体の学年別では、3年生が例年のごとく「思う」が50%以上と格段に高い。1・2年生は約30%と低調。

・ 学校別では、例年だと両校ともだいたい同じような数値傾向であったが、本年度は3年生においてかなりの差が出ている。進路先は個々人の希望選択故に、如何ともし難いところもあるが、来年度以降において少しでも取り組める事があれば実施していく必要がある。いずれにしても、今後において油木高校への地元率は最低でも60%以上を目標に、尚かつ学年54人以上（学年定員80人の2/3以上：県教委の指針数値）の生徒確保が重要である。この数値をお互いに共有し合って取り組んでいく必要がある。

(2) 3(1)の質問で「① 思う」と答えた人で、その理由と思うものを次の中から選んでください。(複数回答可)

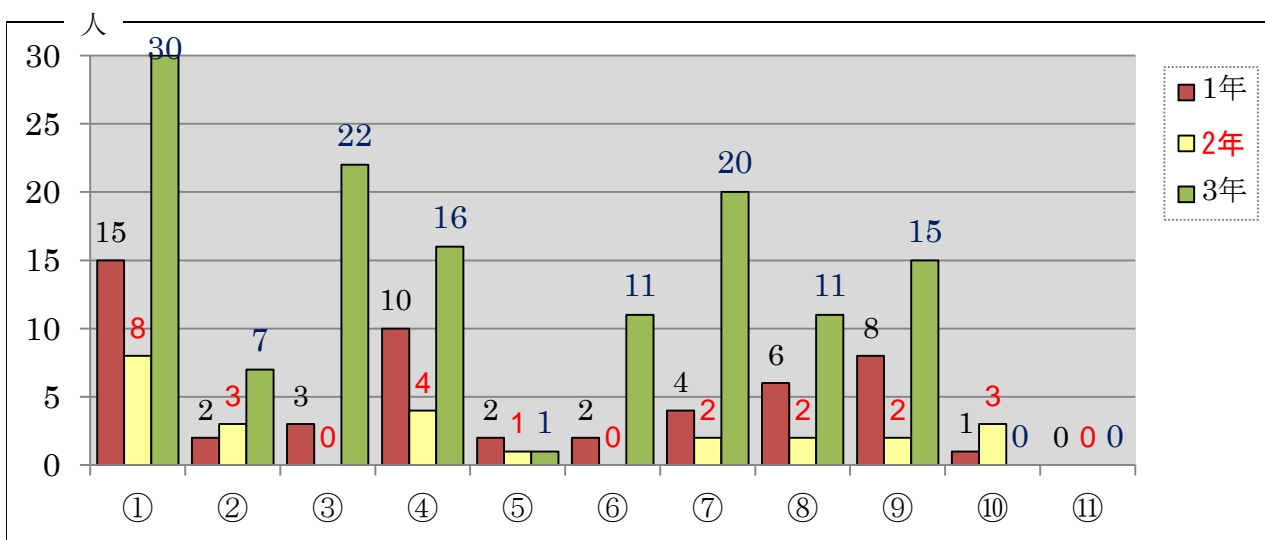
- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
⑦ 町の支援(サテライン、公営塾、海外研修等)がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

<2校全体では>



<学年別の人数では>

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
⑦ 町の支援(サテライン、公営塾、海外研修等)がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他



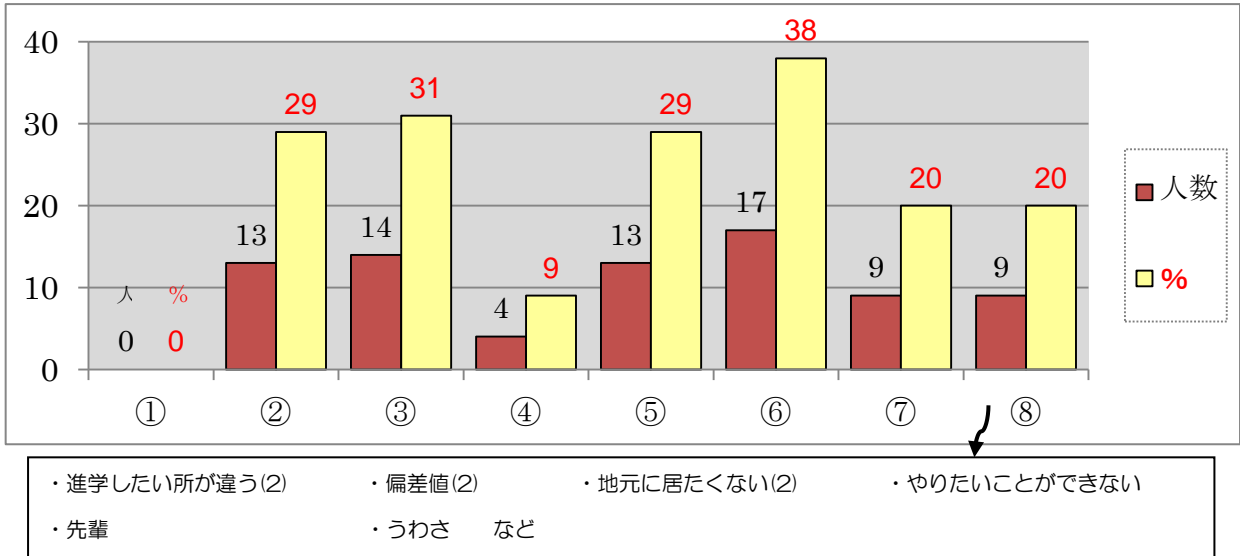
考察 ・2校全体で多い順は、1位：①「通学に便利」(77%)、2位：④「クラブ活動面」(43%)、3位：⑦「町の支援」(38%)となっている。このことから、最も多く「通学に便利」と答えているだけに、地元高校の存続は今後も堅持していく必要がある。

・学年別で特徴的なものとして、3年生が上記の三つ以外に③「教育内容面」、⑥「施設設備がよい」、⑩「友人関係」等多くの項目を理由に挙げている。これは、油木高校の良さを多方面にわたって感じていると思われる。そのことを低学年にも浸透するように情報提供していく必要がある。

(3) 3(1)の質問で「② 思わない」と答えた人で、その理由と思うものを次の中から選んでください。(複数回答可)

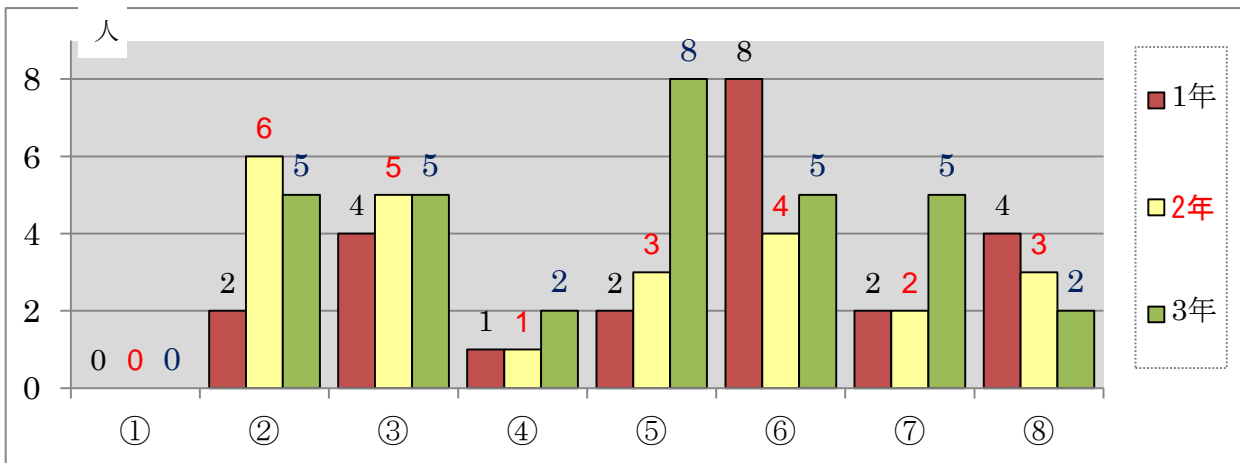
- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便 | ② 教育内容面 | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係 | ⑧ その他 |

<2校全体では>



<学年別の人数では>

- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便 | ② 教育内容面 | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係 | ⑧ その他 |

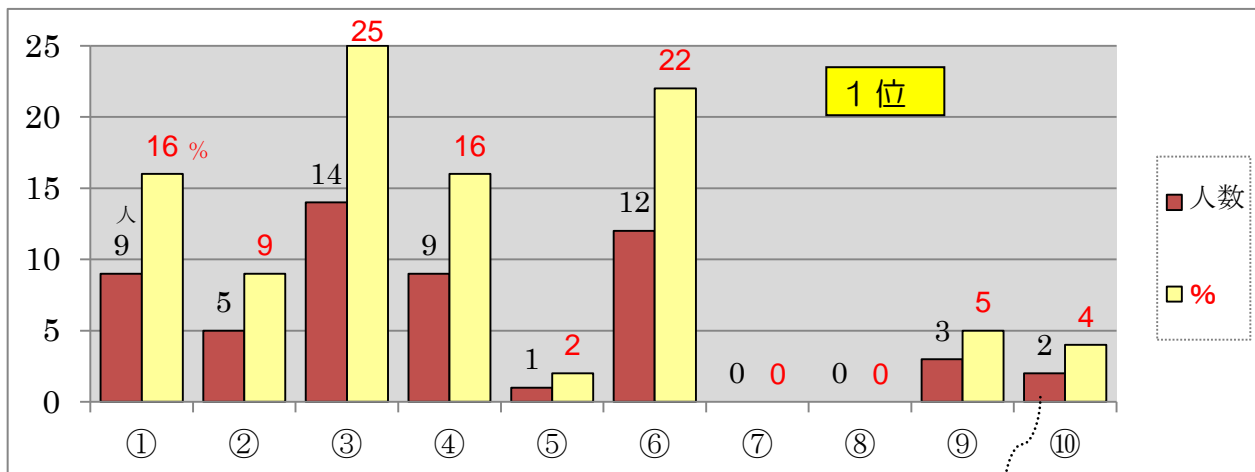


考察 ・2校全体で多いのは、1位：⑥「高卒後の進路面」(38%)、2位：③「クラブ活動面」(31%)、3位：②「教育内容面」・⑤「希望の学科がない」(29%)となっており、ほぼ例年と同様である。
 ・例年「高卒後の進路面」についての不安が多くあるが、「油木高校の進路指導や進路実績」を中学生に分かりやすく紹介したり、大学受験に効果的で他校の公立高校にはない通信衛星授業や公設塾などをしっかりとアピールしていく必要がある。
 ・各中学校で実施して頂いていると思われるが、油木高校生(特に出身中学生)が頑張っている姿を機会あるごとに後輩中学生に今後もしっかりと語って頂くことをお願いしておきたい。←(高校は中学校へしっかり情報提供していく)

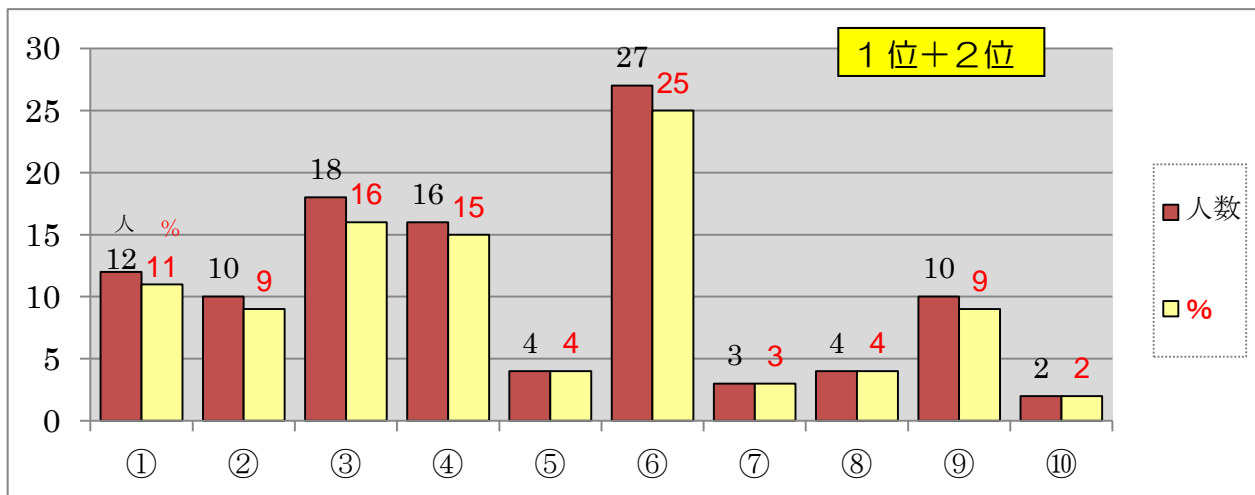
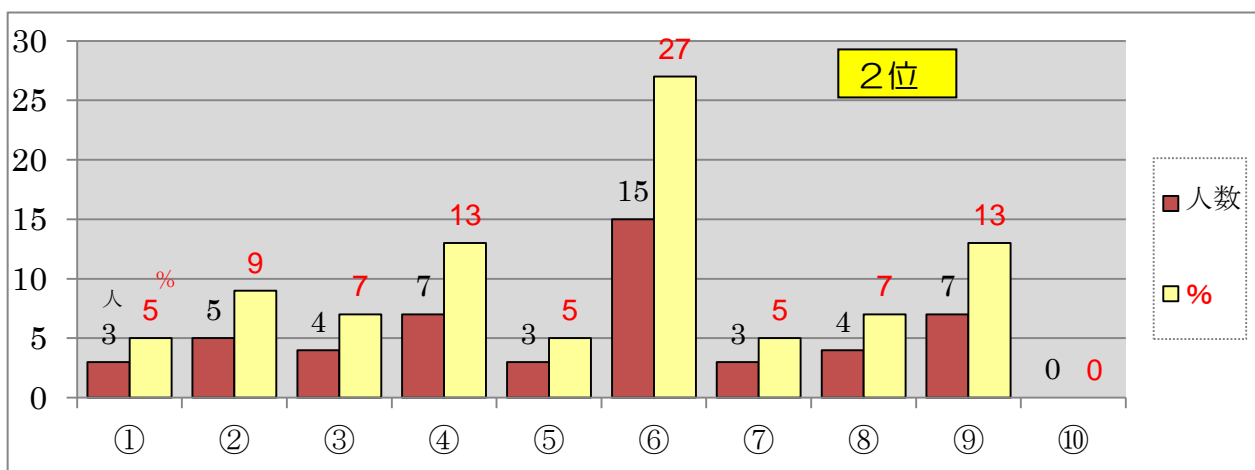
(4) 3(1)の質問で「③ わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択する（高校を選ぶ）上で、重要視したいことはどんなことですか。 下記の①～⑩の中から重要視したい順番に2つ選び、番号で教えてください。

- | | | | | |
|----------|----------------|------------|---------|---------|
| ① 通学便 | ② 伝統や校風 | ③ 進路実績 | ④ 教育内容面 | ⑤ 施設設備面 |
| ⑥ クラブ活動面 | ⑦ 市町からの色々な支援制度 | ⑧ 親や家族のすすめ | ⑨ 友人関係 | ⑩ その他 |

<2校全体では>

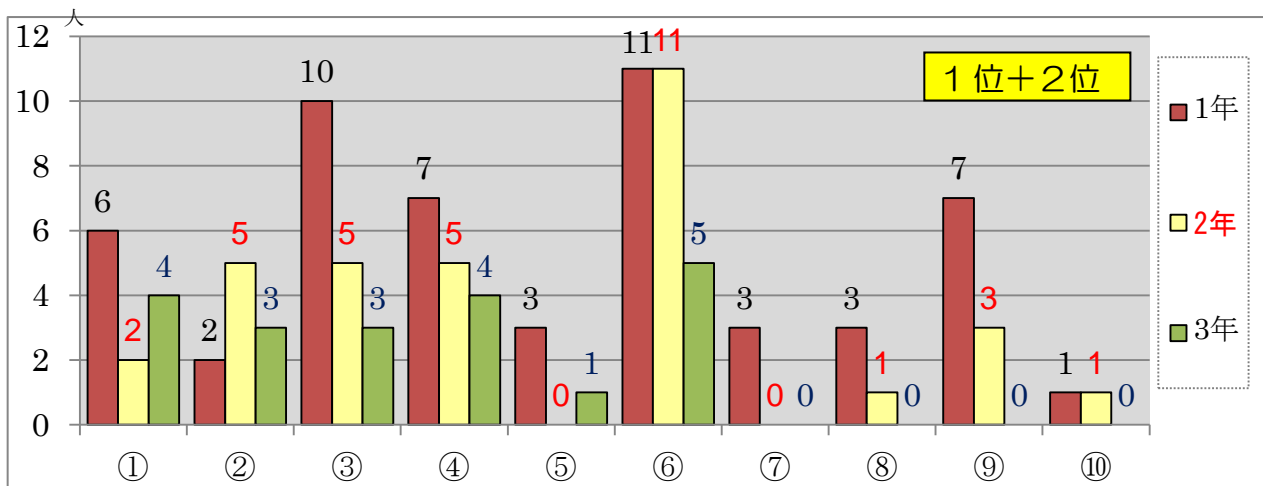
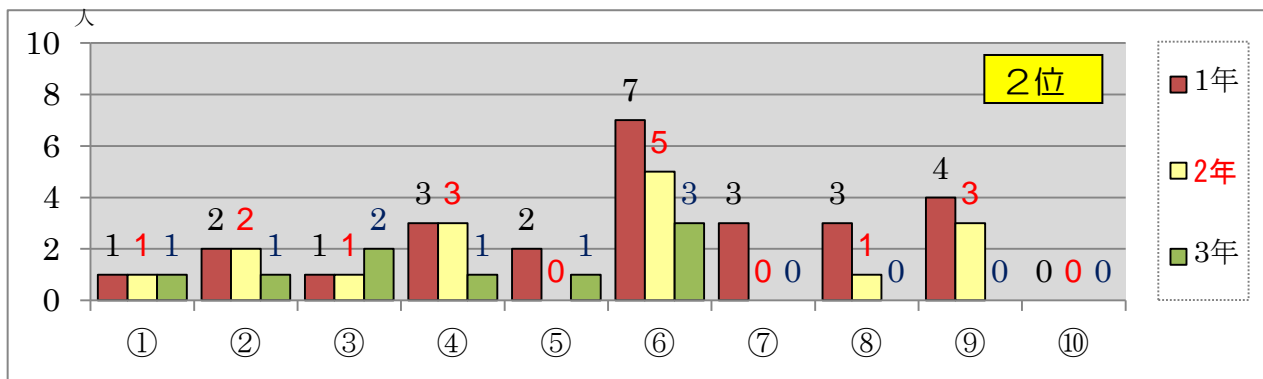
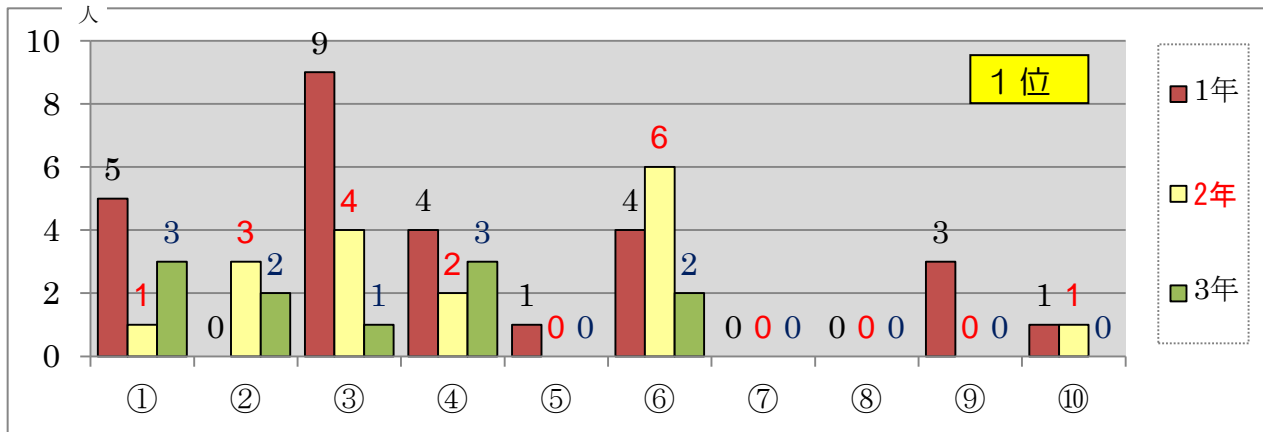


どこの高校へ行けるのか分からない



- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 進路実績 ④ 教育内容面 ⑤ 施設設備面
 ⑥ クラブ活動面 ⑦ 市町からの色々な支援制度 ⑧ 親や家族のすすめ ⑨ 友人関係 ⑩ その他

<各学年別の人数では>



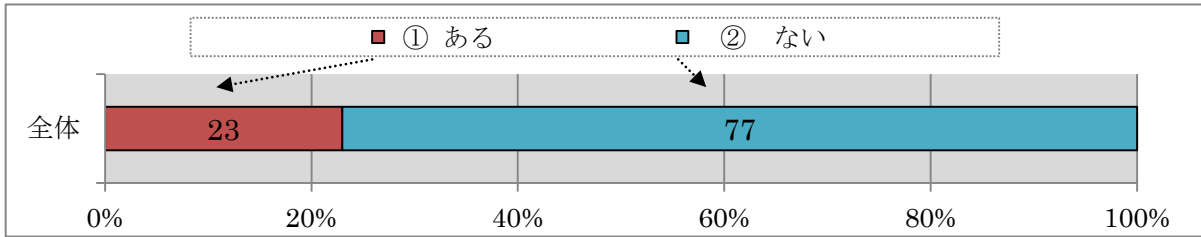
考察 ・2校全体での1位+2位で多い順は、1位：⑥「クラブ活動面」(25%)、2位：③「進路実績」(16%)、3位：④「教育内容面」(15%)となっている。

・各学年別に見たときの特徴として、1・2年生で多いのが⑥「クラブ活動面」や③「進路実績」、3年生は①「通学便」④「教育内容面」とそれぞれ違っている。

・年度によって多少の違いはあるものの、生徒が高校選択する時の重要項目としては、⑥「クラブ活動面」③「進路実績」④「教育内容面」に収れんできる。よって、それらが充実していくような取り組みや支援策を今後も検討していく必要がある。

Ⅱ. 油木高校生 に係るアンケート調査の結果と考察

① (1) あなたは本年度、中高連携で町内の中学生を指導したり、一緒に活動したことがありますか。

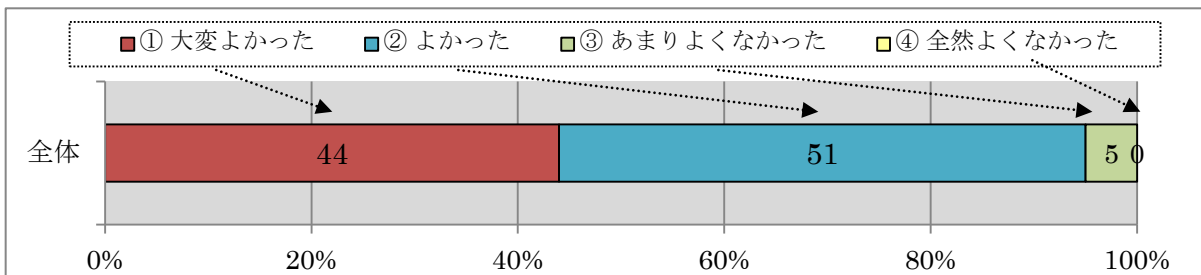


「ある」と答えた生徒は 41 人（23%）で、昨年度 30 人（17%）より若干増加している。

活動内容としては

・部活動（22 人） ・植栽（4 人） ・文化祭（6 人） ・体育祭（1 人）

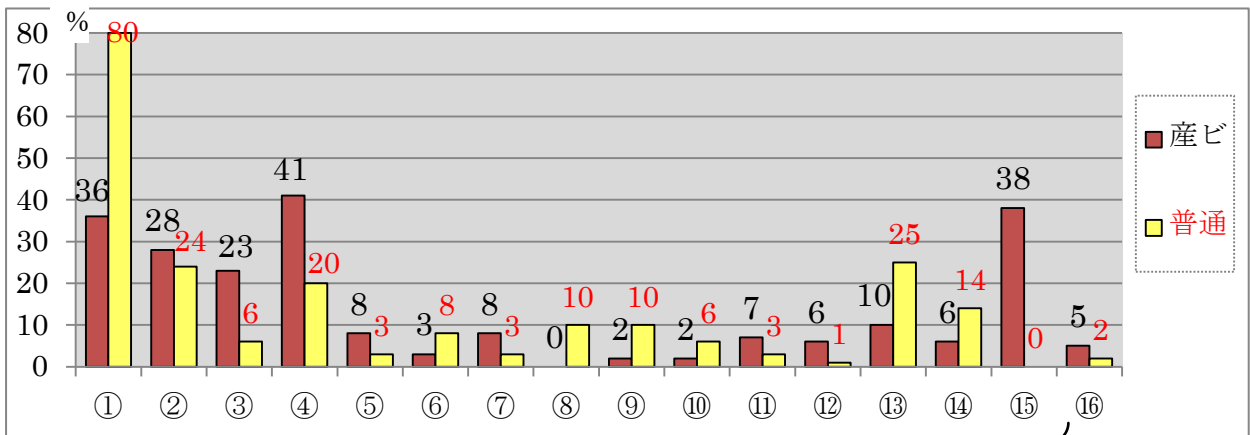
(2) (1)の質問で「①ある」と答えた人で、それはどうでしたか。



考察 生徒同士の交流人数はこれまで 10%台だったが、本年度初めて 20%台になった。交流した多くの生徒（95%）が「大変よかった・よかった」と非常に高い肯定的評価をしているだけに、今後もできるだけ多くの生徒が交流できるような場づくりを検討していく必要がある。

② あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。（複数回答可）

- | | | | |
|------------|-----------|----------|-------------|
| ① 自宅から近い | ② 親・家族の薦め | ③ 先生の薦め | ④ 自分の希望 |
| ⑤ 教育内容面 | ⑥ 部活動面 | ⑦ 寮がある | ⑧ 通信衛星授業がある |
| ⑨ はやぶさ塾がある | ⑩ 海外研修がある | ⑪ 進路実績 | ⑫ 評判 |
| ⑬ 友人関係 | ⑭ 経費が安い | ⑮ 学科への興味 | ⑯ その他（ ） |

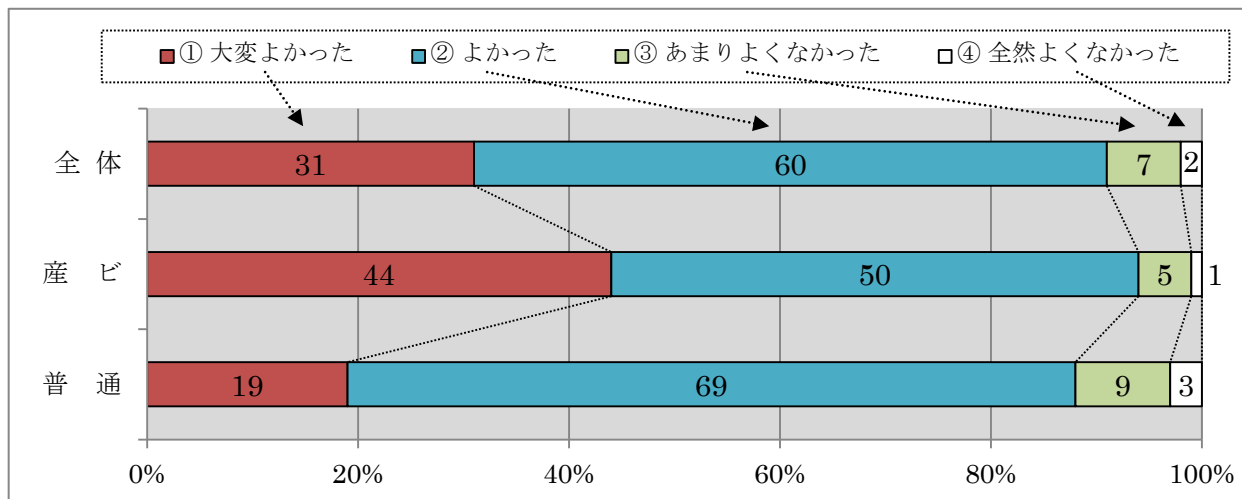


姉がいる、父の仕事関係（転居）、農業したかった、受験が楽な気がしたから、ここしかなかった など

考察 ・全体的に多いのは、①「自宅から近い」④「自分の希望」②「親・家族の薦め」である。

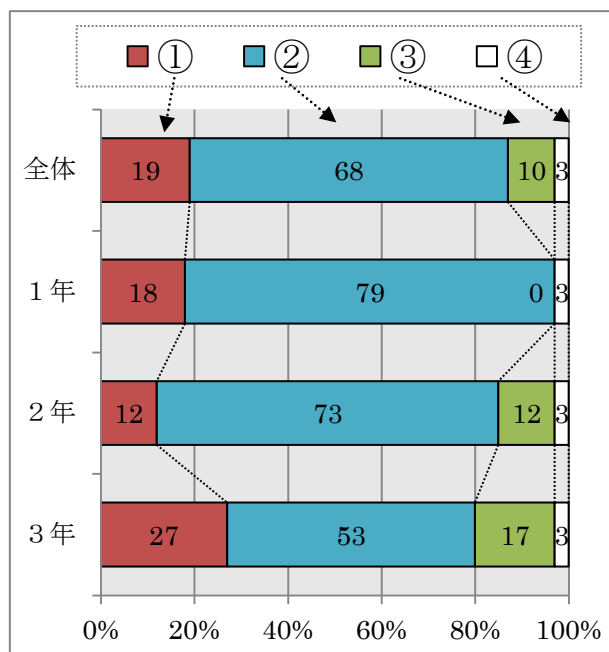
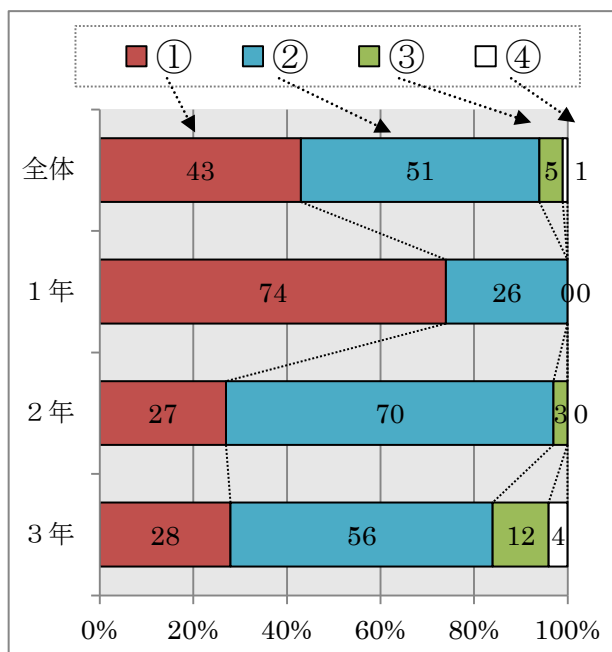
・学科ごとにみると、普通科は圧倒的に①「自宅から近い」が多く、産業ビジネス科では、④「自分の希望」や⑫「学科への興味」が非常に多いのが特徴としてあげられる。

③ あなたは油木高校へ進学して、どうですか。



<産業ビジネス科>

<普通科>



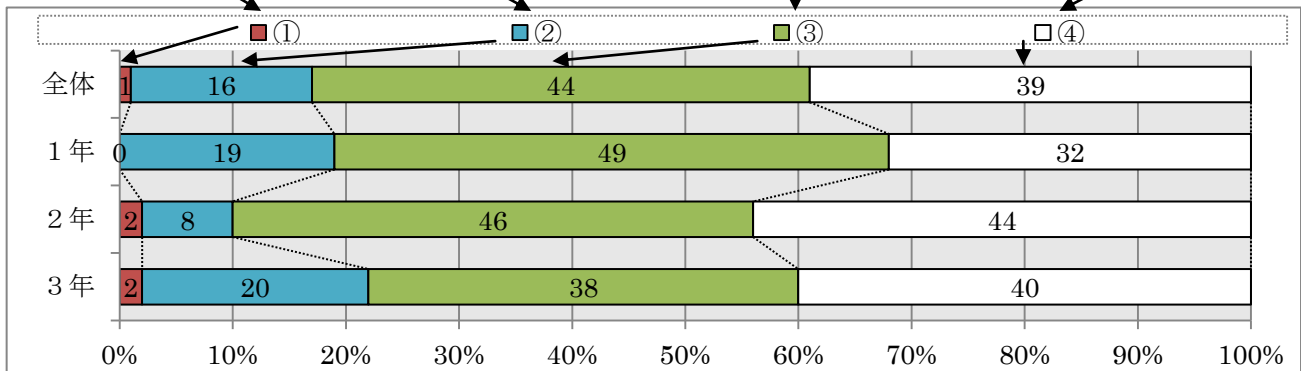
考察 ・全体では、例年と同様に多くの生徒（91%：昨年度92%）が「よかった」と肯定的評価をしている。

・学科ごとにみると、「大変よかった」とする者が、産業ビジネス科で44%と半数近くいるが、普通科は19%であった。反対に「よくなかった」と否定的評価をしている生徒は、産ビ6%、普通科12%であった。その中で、「全然よくなかった」とする生徒は、産ビ1%、普通科3%で、どの学年にもわずかではあるがいる。

・学年ごとでは、例年は両科とも3年生の満足度が一番高かったが、本年度は産ビ科1年生の74%が「大変よかった」と思っている生徒が多いのが特徴的である。

4 (1) 本町では「油木高校生への10の支援」を実施していますが、その内容について知っていますか。

① 8つ以上は知っている ② 5～7は知っている ③ 3～4ぐらいは知っている ④ ほとんど知らない



考察 「5つ以上は知っている」が17%と認知度が非常に低い。中でも「ほとんど知らない」が39%あり、本町役場関係課において今後も引き続き広報活動に努めながら、油木高校の魅力のアピールしていく必要がある。

なお、「油木高校生への10の支援」リーフレットの学校送付時には、機会を捉えて生徒への紹介をお願いしていく。

(2) 本年度、通信衛星授業を受けた人だけ教えてください。

Q あなたの受講状況を教えてください。

	前期・後期とも				前期だけ				後期だけ			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
産 び 科	0	0	1	1	2	2	0	4	0	0	0	0
普 通 科	10	5	4	19	7	3	1	11	0	1	0	1
計	10	5	5	20	9	5	1	15	0	1	0	1

Q 通信衛星授業を受けてみての感想はどうか？ また、そう思う理由で、具体的に何かあれば書いてください。

① 大満足 ② 満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

	普通科 (1・2・3年)	産 び 科 (1・2・3年)	計 (%)	理 由
①	3人 (0・1・2人)	1人 (0・0・1人)	4人 (7%)	・授業では学べないことを教わる事ができた ・授業の補足や復習ができた ・有名予備校ゼミだから ・先生によっては分かりにくい
②	11人 (6・3・2人)	1人 (1・0・0人)	12人 (23%)	・分かりやすいけど長時間連続はきつい(2) ・説明が詳しい ・休日でやる気が半減する
③	20人 (9・6・5人)	2人 (1・0・1人)	22人 (41%)	・産びと授業内容が違いすぎたり、学校の授業と進度が違う ・説明が分かりやすい ・少し難しい ・見ながら聞いただけなので眠いが、よく分かる ・質問できないので分からない所で止まる
④	11人 (3・5・3人)	1人 (0・1・0人)	12人 (23%)	・時間が長すぎる(3) ・分からない所を聞けないのが不満(2) ・分からなくなった ・ねむい ・あまり意味がない
⑤	2人 (1・0・1人)	1人 (0・1・0人)	3人 (6%)	・産びで習ってない内容が多すぎた ・力になると思えない ・映像なので面白くない

考察 受講生の多くは普通科生（89％）であるが、その内3割は「満足」しているが、「不満足」な生徒も3割いる。理由として、「満足」は「授業で学べないことが学べる、説明が詳しい」などで、「不満足」は「時間が長すぎる、産ビと授業内容が違いすぎる」などを理由に挙げており、検討課題もあるようである。

(3) 1, 2年生のみ答えてください。 来年度、通信衛星授業を受けますか。

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 受ける	6人	5人	11人 (17%)	0人	0人	0人 (0%)	11人 (9%)
② 受けない	14人	20人	34人 (51%)	21人	21人	42人 (75%)	76人 (62%)
③ わからない	13人	8人	21人 (32%)	10人	4人	14人 (25%)	35人 (29%)

考察 現時点での受講希望者は11人（9％）と極めて少ないが、費用対効果等もあるので、実施の際には少しでも受講生が増える取組や学習効果の上がる対策などが望まれる。

(4) 本年度、「はやぶさ塾」に参加した人だけ答えてください。

あなたの受講状況を教えてください。

	前期・後期とも				前期だけ				後期だけ			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
産ビ科	1	1	0	2	0	0	1	1	1	0	0	1
普通科	11	7	3	21	0	2	2	4	2	0	0	2
計	12	8	3	23	0	2	3	5	3	0	0	3

「はやぶさ塾」に参加してみたの感想はいかがですか。

	普通科 (1・2・3年)	産ビ科 (1・2・3年)	計 (%)	理 由
	① 大満足	② 満足	③ 普通	
①	5人 (1・1・3人)	0人 (0・0・0人)	5人 (13%)	・先生が分かりやすい ・本当にやる気のある人だけ参加して欲しい ・個人的に進路達成できたので続けて欲しい
②	9人 (4・3・2人)	4人 (2・1・1人)	13人 (33%)	・勉強する空気を自分の中で作れた ・分からない所を教えて貰えた ・自学自習ができ力になっていると感じた ・成績が伸びた ・しっかり教えて貰える ・自分のペースで学習できる
③	15人 (8・4・3人)	1人 (0・0・1人)	16人 (40%)	・分からない所が分かって良い ・自分のやりたい所をやれるのでよ い ・少し分かりにくい ・先生がうるさい日がある(2)

④	3人 (0・3・0人)	2人 (0・1・1人)	5人 (12%)	・休憩なしで効率が悪い ・授業の復習になるが、学年別で曜日をつけて授業して欲しい ・プリントをただで先生に質問する人もいない
⑤	1人 (0・1・0人)	0人 (0・0・0人)	1人 (2%)	特定の曜日に来られる先生がとてもうさい

考察 ・本年度の受講者数は31名で、そのうち通年者は23名のものである。昨年度とほぼ同数である。
・受講者の評価としては、「大満足・満足」との肯定的評価が46%とほぼ半数である。反対に「やや不満・不満」との否定的評価は14%であった。来年度からは、実施内容を少し改善しての取組となるので、その辺りをしっかりと生徒に説明なりアピールしながら実施していく必要がある。

(5) 1, 2年生のみ答えてください。

Q 来年度、「はやぶさ塾」に参加しますか。

① 参加したい ② 参加したくない ③ わからない

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 参加したい	9人	4人	13人 (21%)	7人	1人	8人 (14%)	21人 (17%)
② 参加したくない	5人	17人	22人 (34%)	16人	20人	36人 (61%)	58人 (47%)
③ わからない	17人	12人	29人 (45%)	8人	7人	15人 (25%)	44人 (36%)

考察 現時点での「受講希望者」は、21人(17%)であるが、受講許容人数50人にはまだ十分な余裕があるため、「わからない」が36%いるので、新1年生も含めて、十分な紹介が必要である。

(6) 1, 2年生のみ答えてください。

Q 来年度、オーストラリア海外研修への参加希望がありますか。

① 希望あり ② 希望なし ③ わからない

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 希望あり	4人	6人	10人 (16%)	4人	4人	8人 (15%)	18人 (16%)
② 希望なし	18人	12人	30人 (49%)	16人	12人	28人 (51%)	58人 (50%)
③ わからない	10人	11人	21人 (35%)	10人	9人	19人 (34%)	40人 (34%)

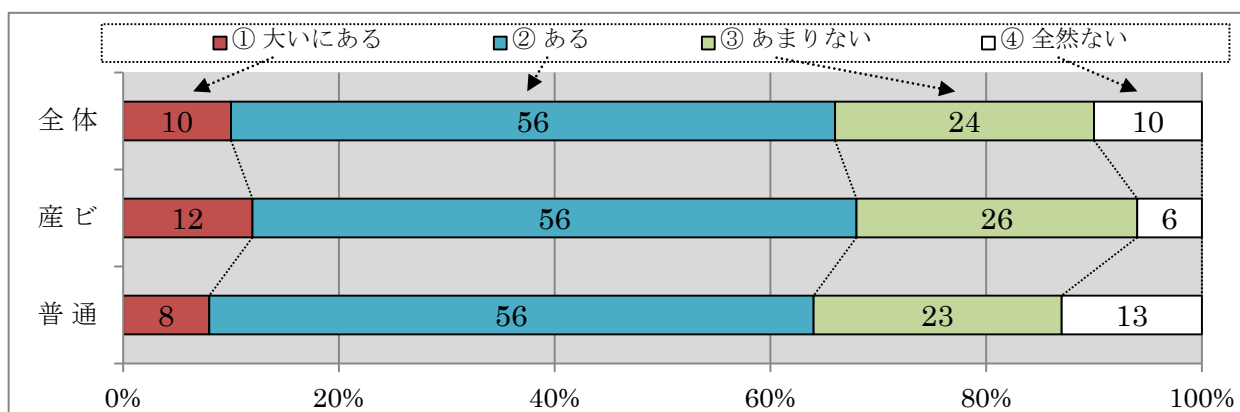
考察 現段階の調査では、18人の参加希望者である。本年度から英検3級以上取得者の条件を加え、更に参加者数を6名と枠を拡げて実施し、普通科4名、産産科2名が希望し参加した。そういったことが影響してか、英検準2級合格者が年々多く(4人→7人→13人→12+α人)になっている。

(7) 本町では油木高校生に対して各種検定受験料の補助（合格者のみ）をしていますが、高校に入学以降で、これらの制度を利用したことがありますか。

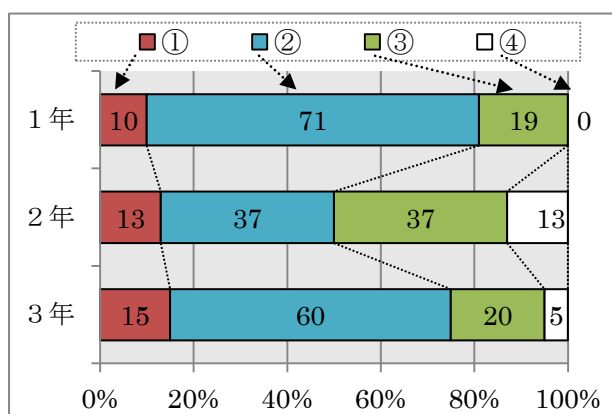
	普通科				産業ビジネス科				総計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
英語検定（準2級以上）	9	10	11	30	0	2	3	5	35
漢字検定（2級以上）	2	7	11	20	1	4	6	11	31
数学検定（2級以上）	1	3	1	5	0	0	0	0	5
ニュース検定（準2級以上）	0	1	9	10	0	0	1	1	11
家庭科（被服・調理）技検（2級以上）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型車両系建設機械（整地等） 小型フォークリフト特別教育講座	0	3	1	4	1	17	16	34	38

考察 概して各種検定への受検者及び合格者が増加傾向にあると思われる。ただし、受検者0のものもあり、連続してこのような状況が続く場合は、補助対象外への検討が必要である。

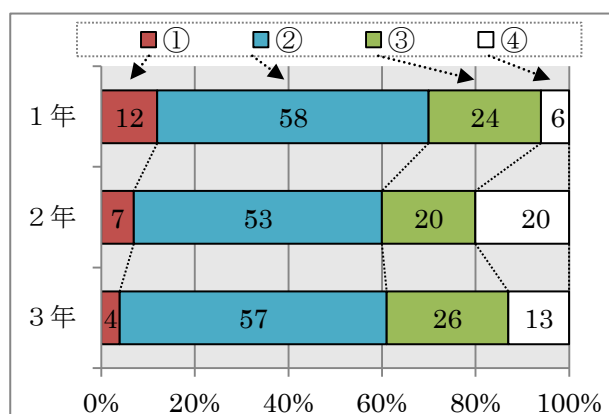
(8) あなたは、地元貢献したいという気持ちがありますか。



<産業ビジネス科>



<普通科>



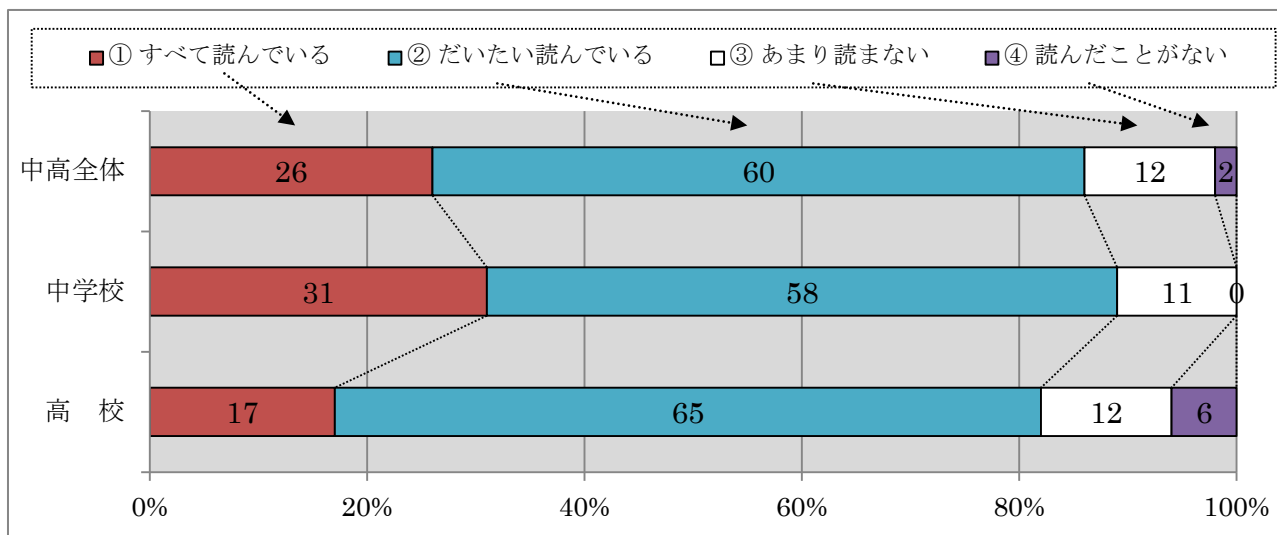
考察 ・全体では、地域貢献意欲を持っている「大いにある・ある」という生徒が66%で、「あまりない・全然ない」否定的回答生徒（34%）を大きく上回っている。

・学科別では、あまり差は見られず、いずれも肯定的回答は60%台であった。

・学年別では、肯定的回答が最も多かったのは、産ビ科1年の81%で、反対に最も少なかったのは産ビ科2年の50%であった。

Ⅲ. 町内中学校・油木高校教職員 に係るアンケート調査の結果と考察

- 1 広報紙「中高一貫教育ジャーナル『高原の風』」・「神石高原町が実施している油木高校生への10の支援」リーフレットや「油木高校ガイドブック」などを学校に配布していますが、読まれていますか。

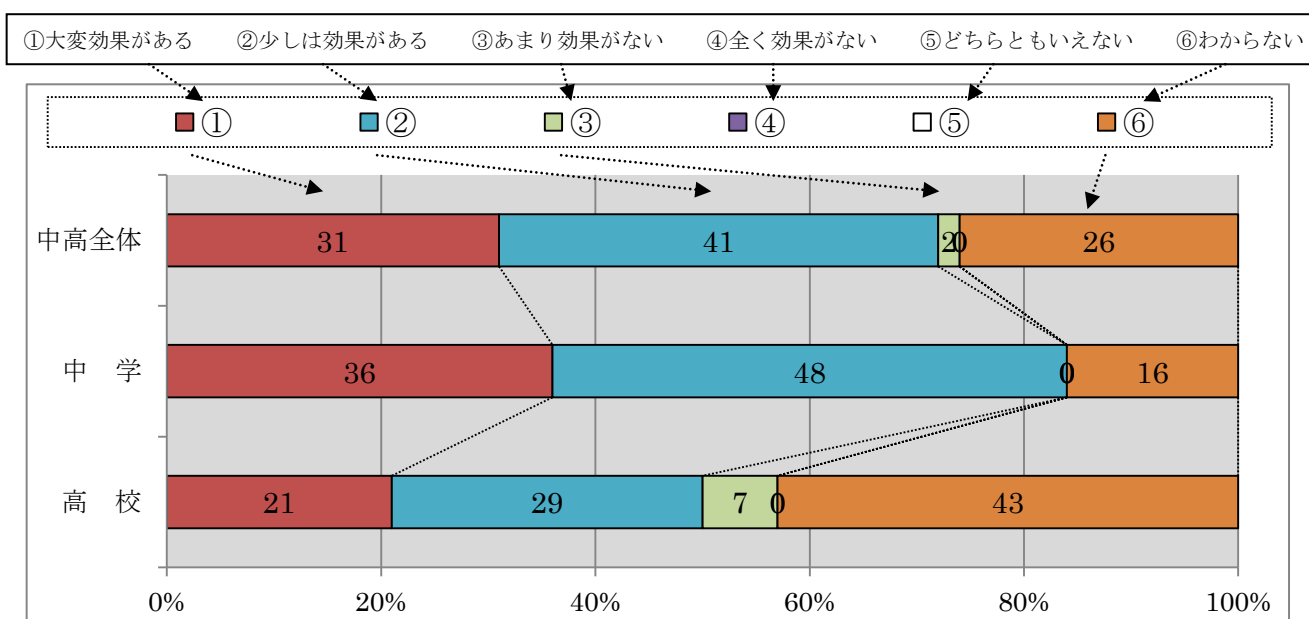


考察 80%以上の方はだいたい読んでおられるが、「あまり読まない」「読んだことがない」は本年度も10%以上（14%、昨年：17%）あった。興味をもって読んで頂けるような中身づくりに努めていく必要がある。

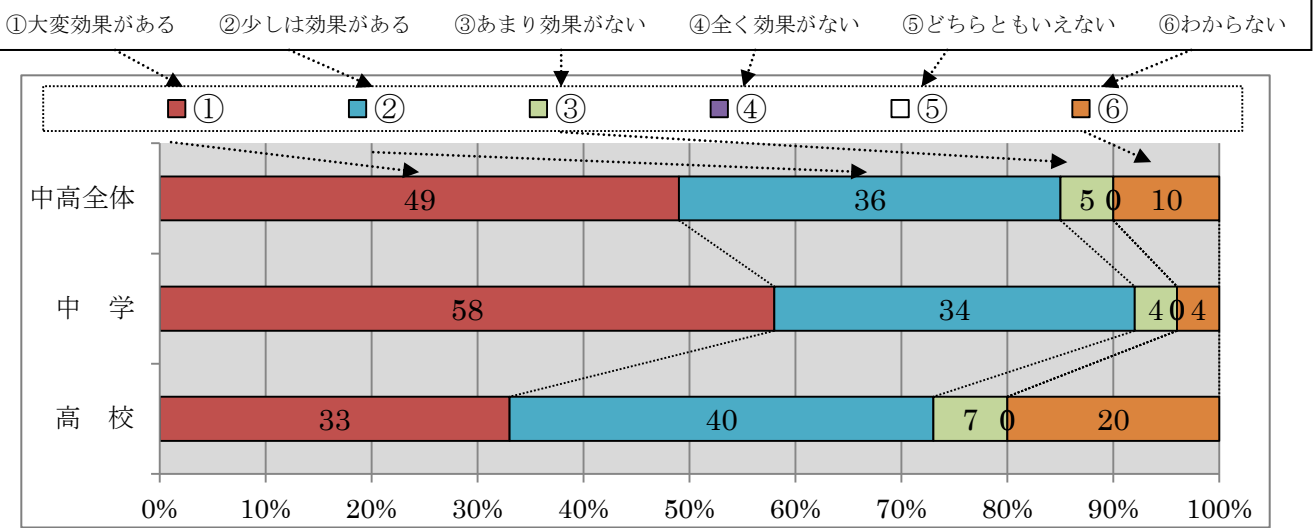
- 2 中高連携の中で、交流授業、部活動交流、学校行事への参加、教職員の交流などが実施されていますが、連携教育の効果についてどう思われていますか。

(1) 定例的交流授業

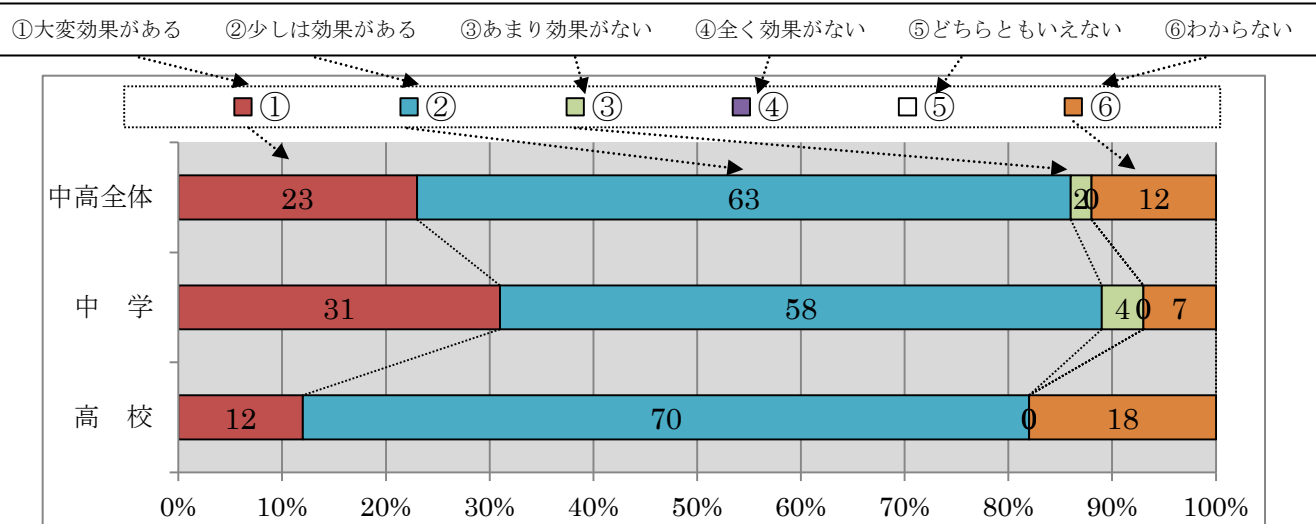
（高→中：英語、中→高：音楽・英語）について、どう思われていますか。



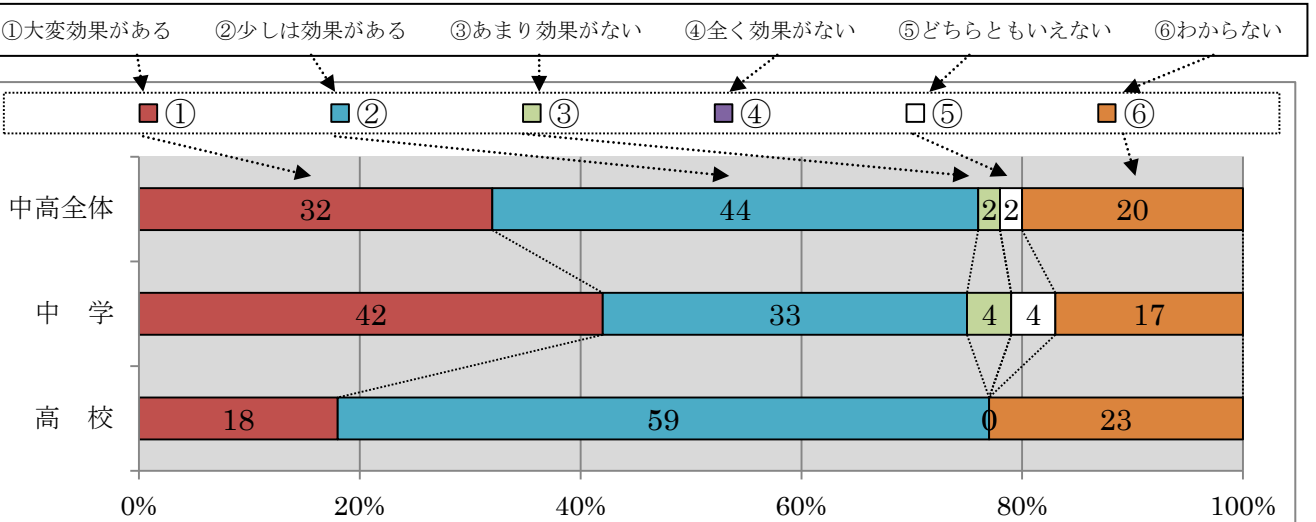
(2) 部活動交流について、どう思われていますか。



(3) 学校行事（体育祭・文化祭・学習成果発表会など）への参加について、どう思われていますか。



(4) 教職員の交流について、どう思われていますか。

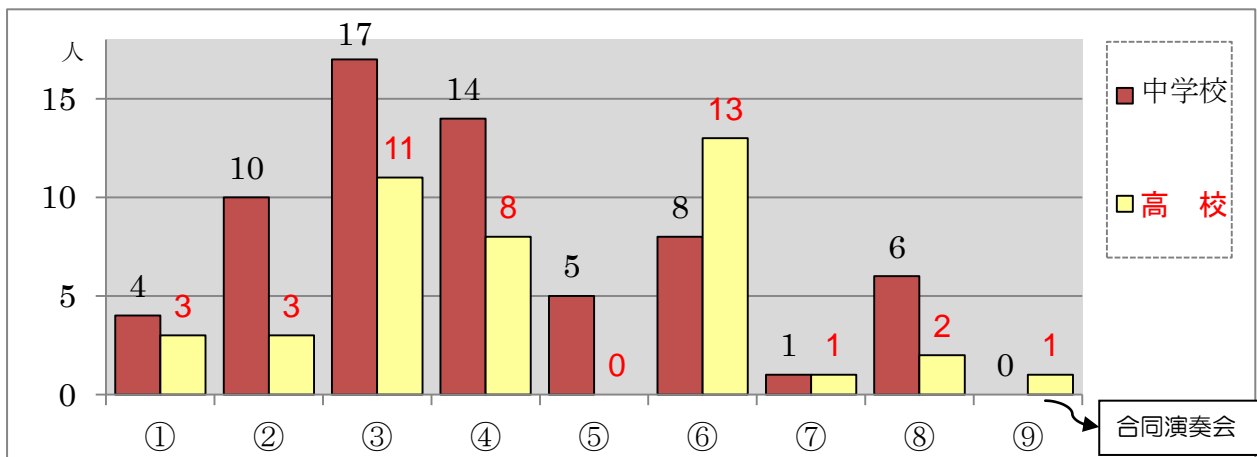


考察 中高全体では、いずれの項目も「①大変効果がある、②効果がある」とする肯定的評価が70%以上ある。また、いずれの項目も高校よりも中学校の方が「効果がある」との評価が高い。

中でも、「部活動交流」について中学校の半分以上（58%）が「大変効果がある」としており、中学生が高校選択をする上で最も重要視しているものに、「クラブ活動面」をあげているだけに、今後においても「部活動交流」を充実させ、中高一貫教育の成果や高校入学率の向上につなげていければと考える。

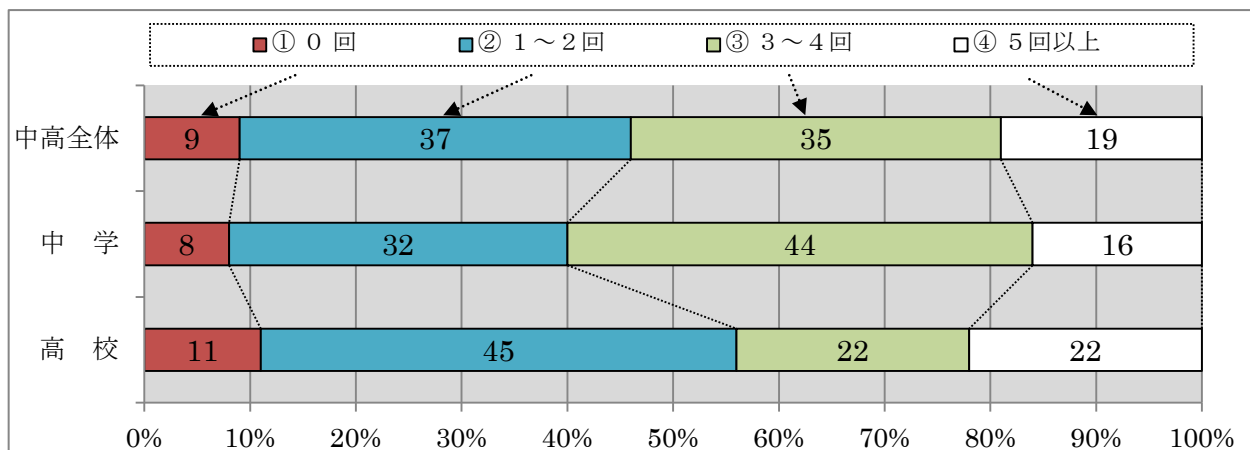
③ (1) 下欄①～⑨の中高一貫教育に係る取り組みの中で、本年度自分が参加したものについて、該当する番号にすべて○印をしてください。（複数回答可）

- | | | |
|------------------------------|---------------------|-------------|
| ① 定例的な交流授業や臨時的な出前授業 | ② 部活動交流 | ③ 町研夏季全体研修会 |
| ④ 教科部会（授業研究など） | ⑤ 教科外部会（進路・生指・連携など） | |
| ⑥ 中高一貫教育講演会（11月13日） | ⑦ 中高の公開研究会 | |
| ⑧ 中高の行事（中→高、高→中の文化祭・体育祭への参加） | ⑨ その他（ | ） |



考察 連携教育の3本柱としている、教科連携→①・③・④・⑦、教科外連携→⑤、部活動・生徒会・行事連携→②・⑧を見た時、中高共にだいたい同じような傾向で参加されている。ただ、⑤「教科外部会」へは高校の参加があまり見られない。来年度以降、油木高校の魅力づくりの一つに「総合的な学習の時間」の中高一貫したカリキュラムづくりに取り組みられるだけに、中高の連携は是非とも必要であると考えます。

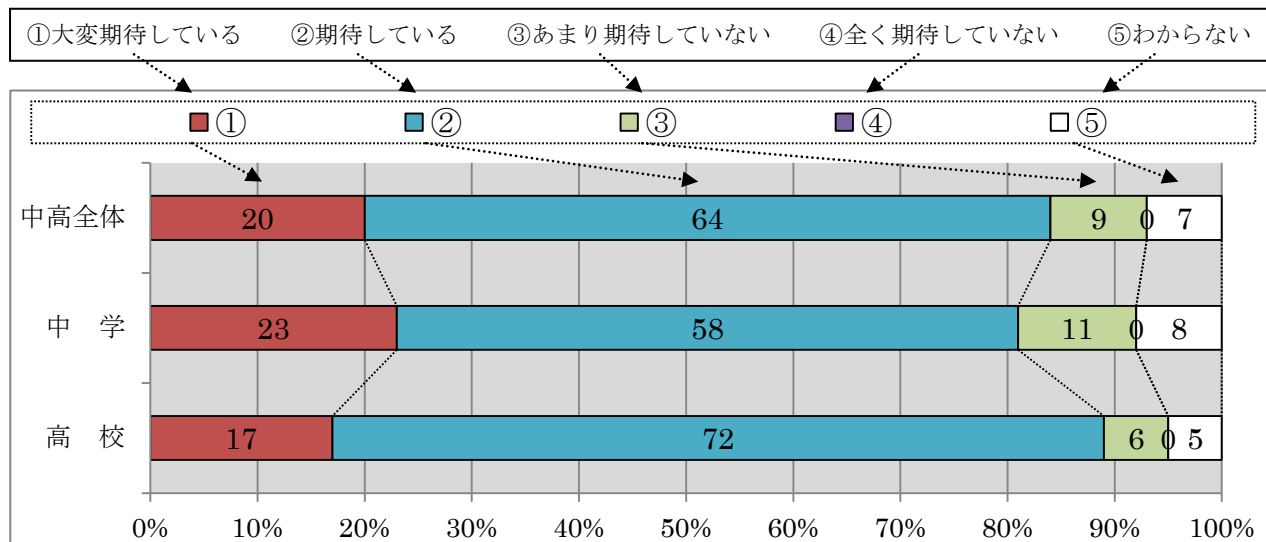
(2) 上記③(1)で、参加した回数は総合計で何回ありますか。



考察 参加回数ごとの割合では、一番多かったのは ② 1~2回で、二番目が ③ 3~4回であった。

今後の中高一貫教育が一層充実発展していくためにも、できるだけ多くの教職員が本事業に関わっていく意識と学校体制づくりが重要と思われる。

4 本町では現在、慶應大学との連携協力協定事業の一つとして「油木高校魅力化プロジェクト」に取り組み、具体策の検討中ですが、この事業にどの程度期待感をもっておられますか。

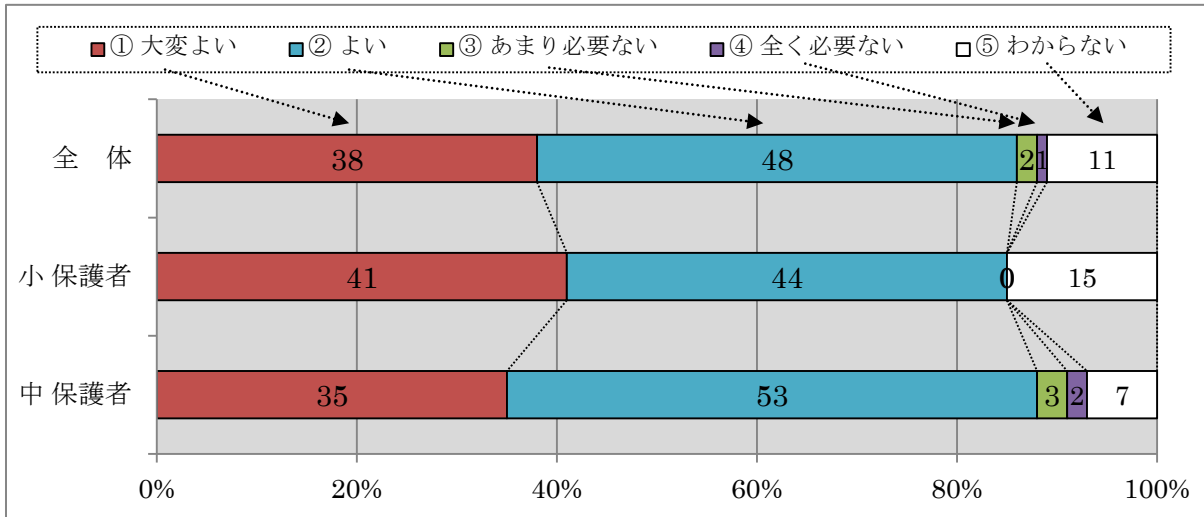


考察 ・中高全体では、「大変期待している」・「期待している」の肯定的回答が84%と高い評価である。

・中高別でも、高校は90%に近い期待感があり、その期待に応えるべく取組が進んでいくことを願っている。しかし、この事業の成否の鍵は、慶應大学関係者・町・学校の3者が協働しあって取り組んでいくことが重要と考えられる。3者の内一つでも傍観的な考えがあれば、なかなか期待に添うことは難しいと思われる。

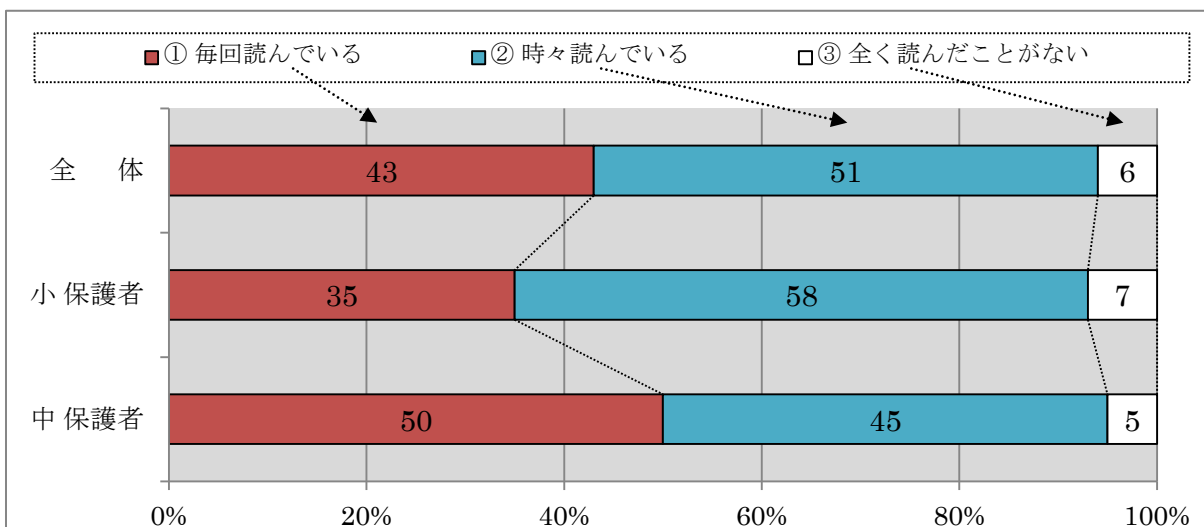
Ⅳ. 小学校(4～6年生)・全中学校 保護者 に係る調査の結果と考察

- ① 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



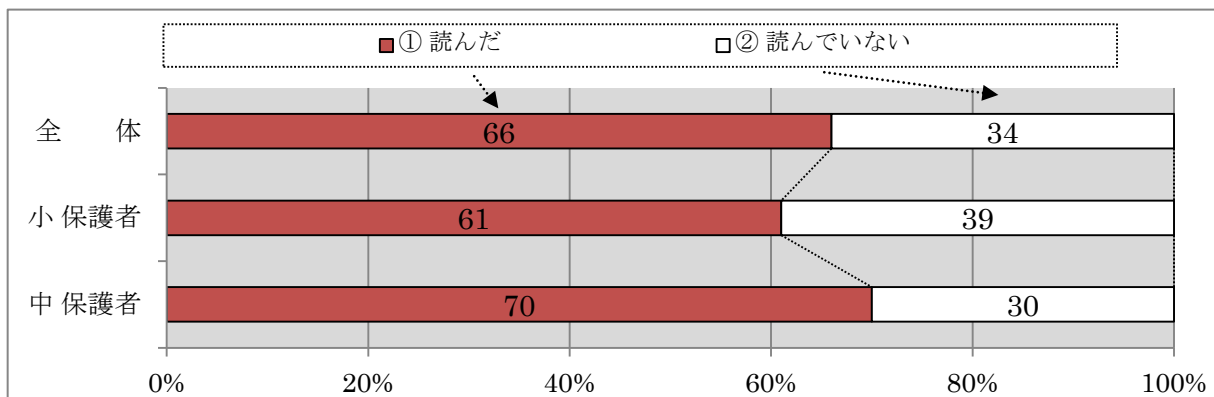
考察 全体としては「よい」とする肯定的回答（86%）が昨年（79%）よりも高かった。しかし、「わからない」とする数値が小中学校共に10%以上あり、連携教育を今後一層積極的に展開していく中で、連携教育の様子や効果について引き続き情報提供していく必要がある。

- ② 広報紙「連携型中高一貫教育ガール『高原の風』」を年3回町内全戸に配布していますが、読んでおられますか。



考察 多くの保護者にだいたい読んで頂いている（94%）。「全く読んだことがない」は昨年（13%）の半分に減った。今後も「毎回読んでいる」が50%以上になるよう魅力ある中身づくりに努めていかなければならない。

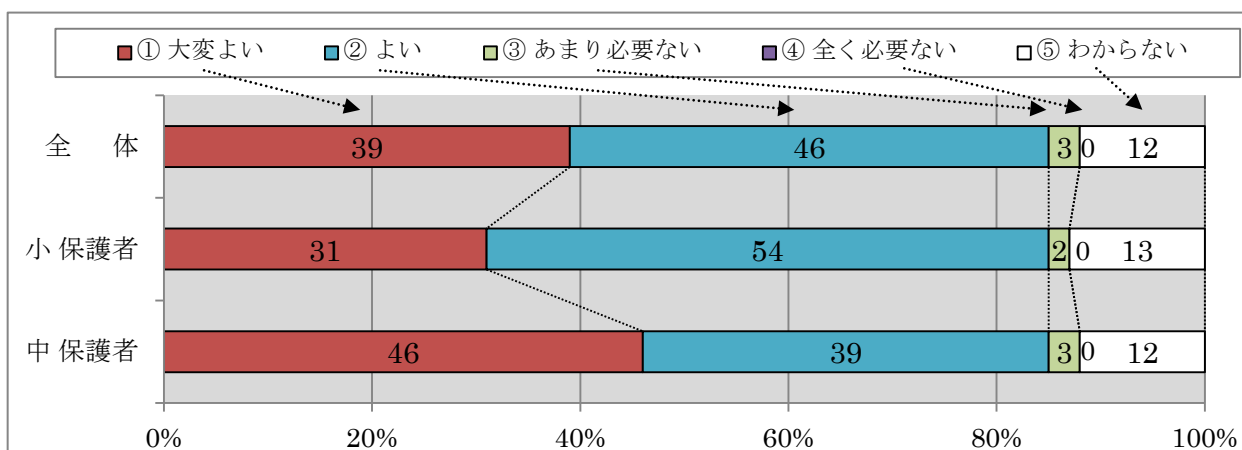
③ 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への10の支援』リーフレットを読まれましたか。



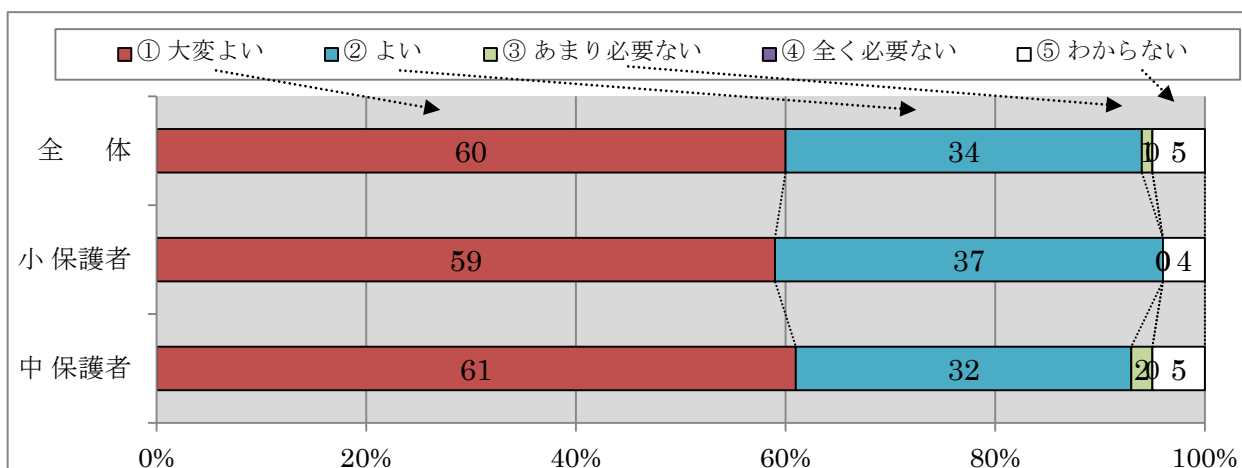
考察 全体としては66%（昨年61%）が読まれており、昨年度より5%上回っている。この「油木高校生への10の支援」は、油木高校の魅力でもあるので、しっかりと関係保護者に知ってもらえるよう、今後もリーフレットの配布は継続し、尚且つ高校説明会等でも高校からのPRをお願いしていきたい。

④ 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

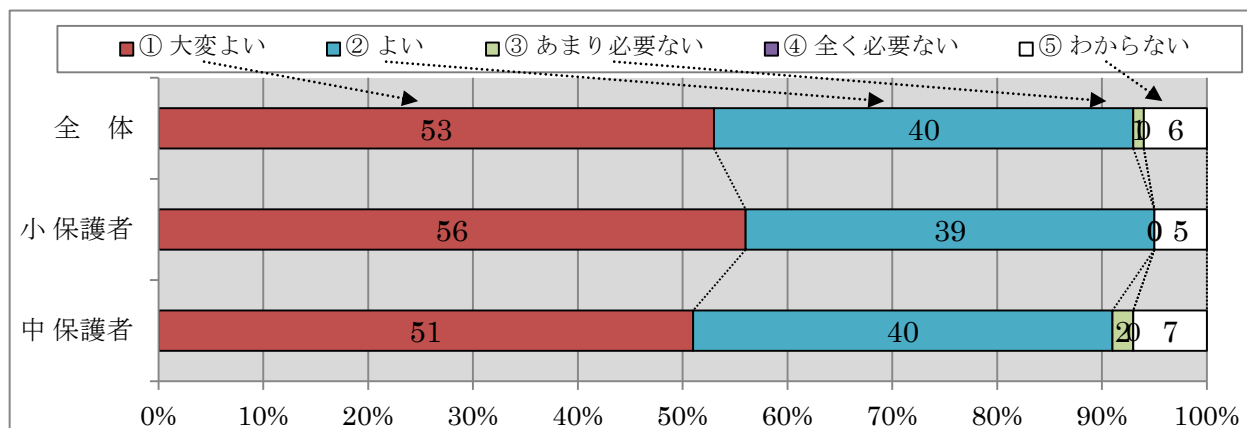
(1) 大手予備校の通信衛星授業の受信補助について、どう思いますか。



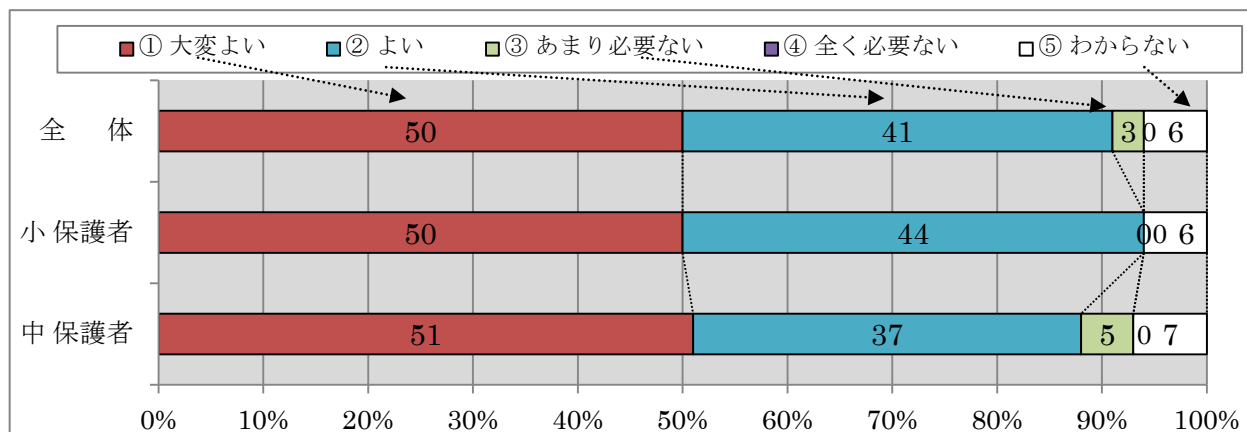
(2) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。



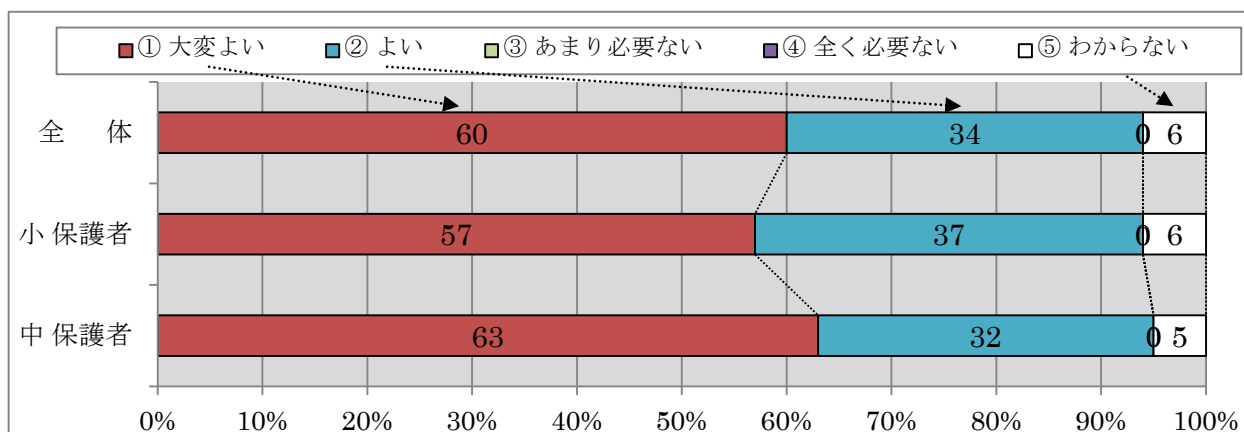
(3) 油木高校内での学習支援塾の開設について、どう思いますか。



(4) 海外短期（語学・農業）研修事業への支援について、どう思いますか。



(5) 各種検定受験料の補助（ただし合格者のみ）について、どう思いますか。



考察・ すべての項目で、80%以上が「よいことである」との肯定的回答である。中でも、「通信衛星授業の受信補助」以外の項目については90%以上もの高い評価である。（昨年度は「部活動遠征費補助」と「学習支援塾」のみ）

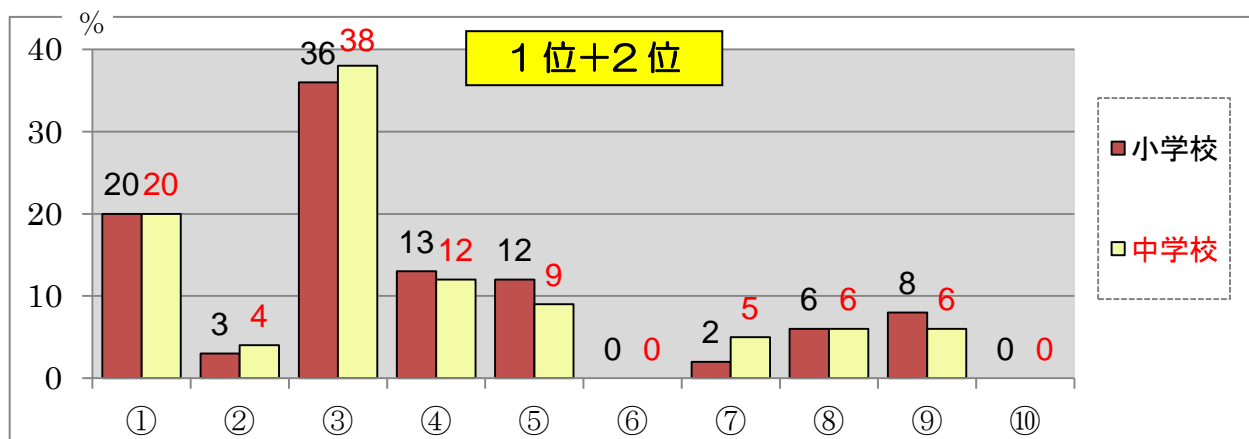
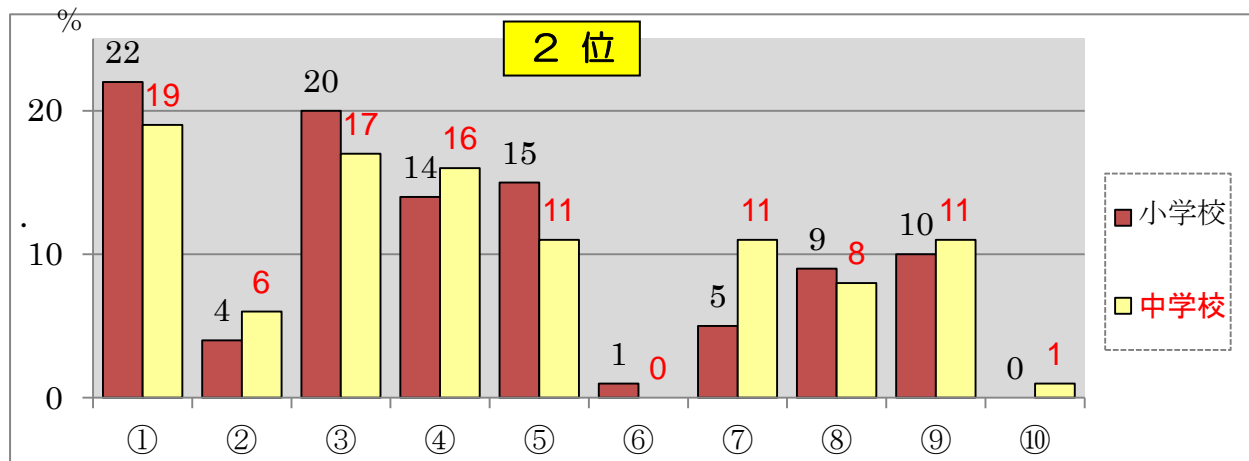
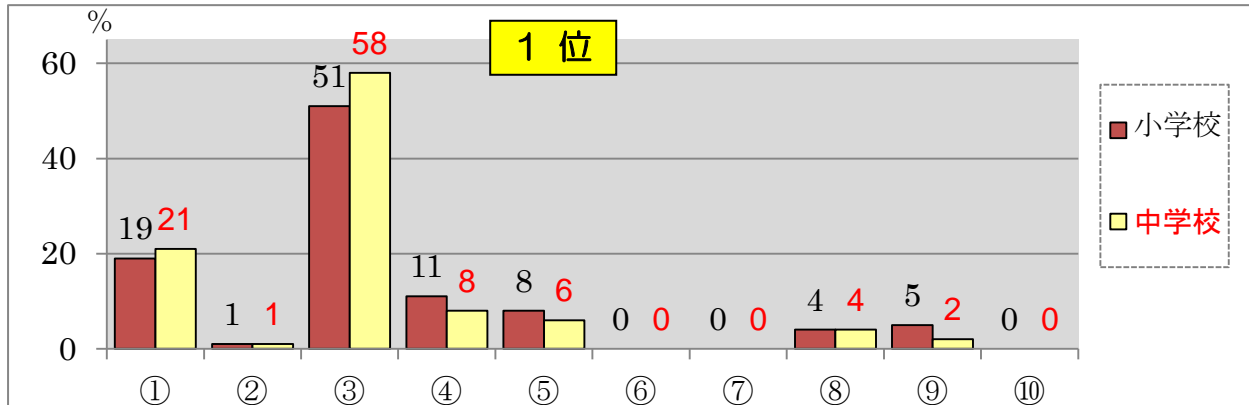
・ 小・中学校別で見た時、あまり大きな差は見られなかった。

これらのことから、多くの項目において保護者の期待度は高いだけに、今後とも支援制度の維持と中身の充実を図りながら、更なる油木高校の魅力づくりに繋げていく必要がある。

⑤ 子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。

下の①～⑩の中から重要視したい順番に2つ（1位・2位）選んでください。

- | | | | | |
|---------|----------|------------|---------|---------|
| ① 通学便 | ② 伝統や校風 | ③ 子ども本人の希望 | ④ 学習環境面 | ⑤ 教育内容面 |
| ⑥ 施設設備面 | ⑦ クラブ活動面 | ⑧ 進路実績 | ⑨ 経費面 | ⑩ その他 |



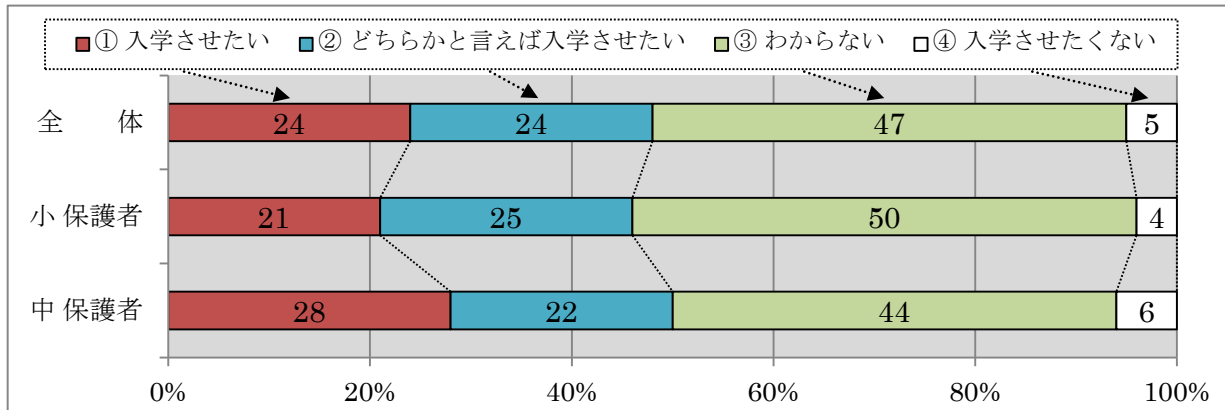
考察 小学校と中学校を比較した時、例年のごとくほとんど同じような傾向にある。

即ち、高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことで多いもの（1位+2位）としては、③「子ども本人の希望」が小中学校共に際立って多く、続いて①「通学便」④「学習環境面」⑤「教育内容面」である。

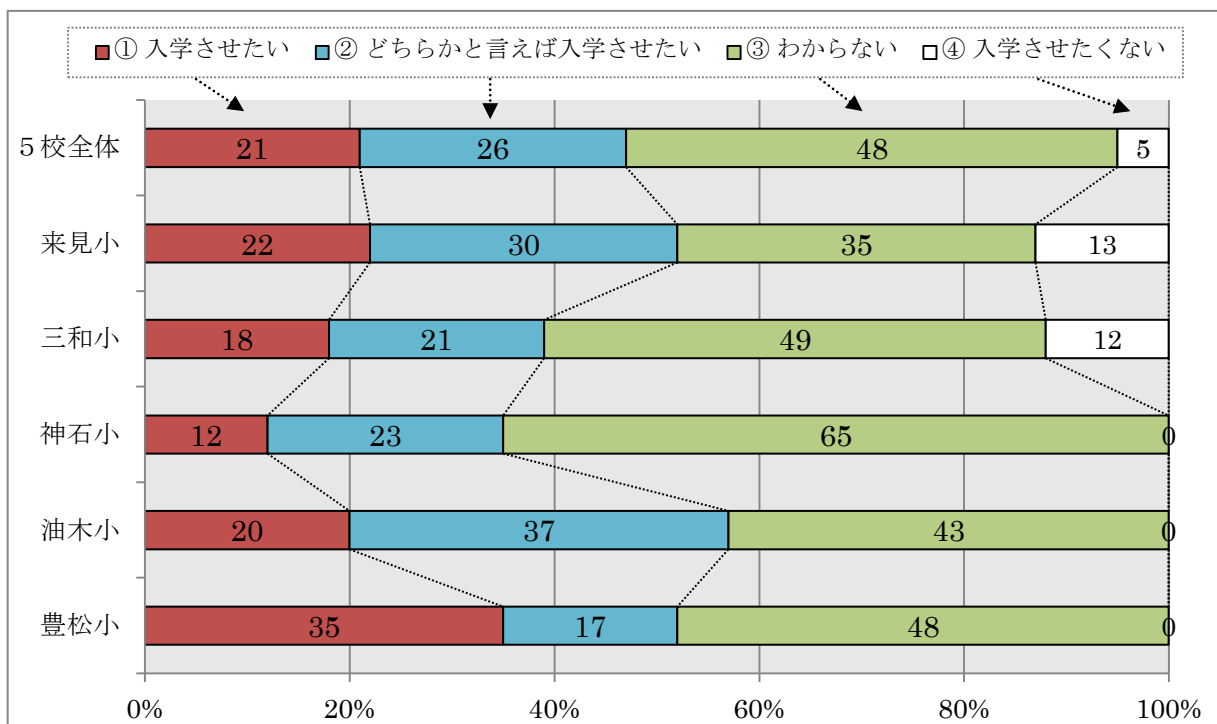
このことから、保護者の半数以上は「子ども本人の希望」を最優先される傾向にあり、児童・生徒への油木高校の理解や関心を深めていく取組みが重要である。

また、「通学便」もかなり重要度が高いことから、できる支援策を今後においても検討しながら、魅力アップにつなげていく必要がある。

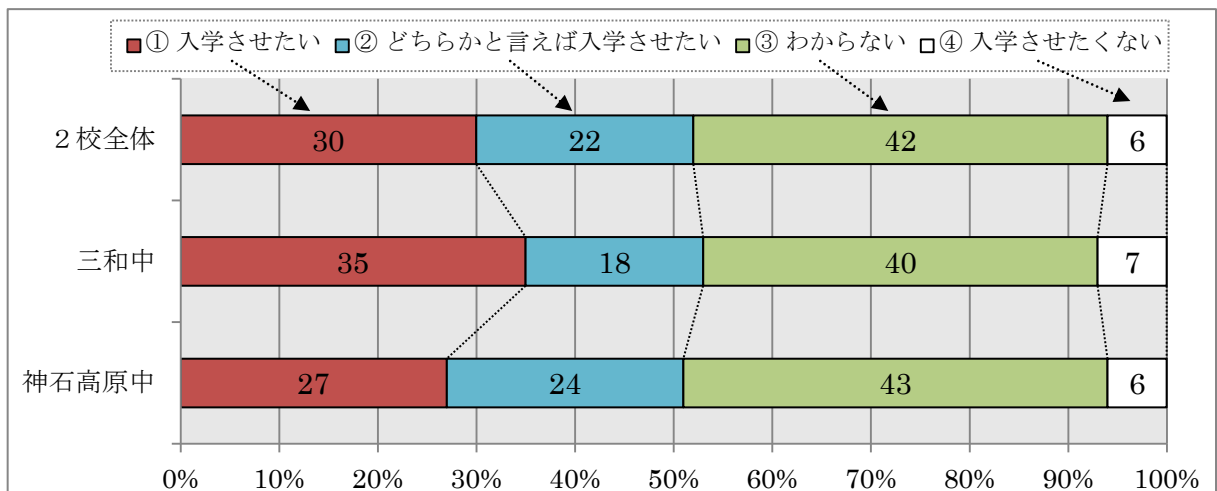
⑥ あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



<各小学校別では>



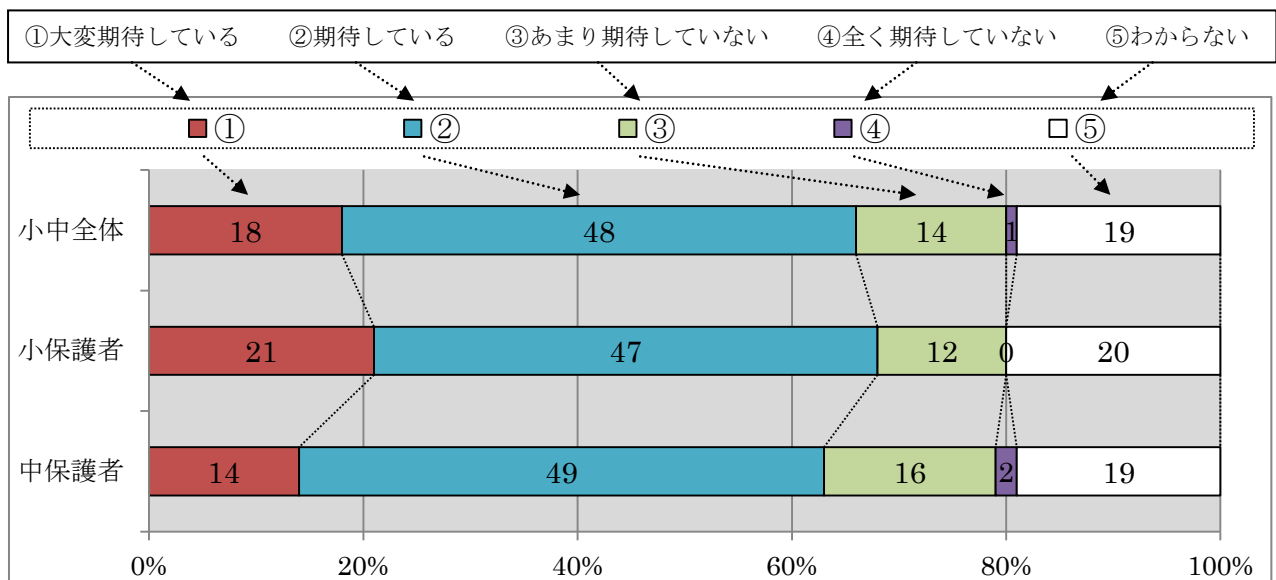
<各中学校別では>



考察 ・全体としては、「入学させたい」が48%（昨年：50%，一昨年：50%）とほぼ例年と同じである。

- ・小中学校別では、「入学させたい」が一昨年までは10%以上中学校が上回っていたが、昨年度から中学校が3～4%ほど上回っているだけで、あまり差異は見られない。
- ・各学校別の小学校では、これまでは油木小だけが「入学させたい」肯定的回答が50%以上であったが、昨年度から複数校（3校）になり、本年度も3校（来見小・油木小・豊松小）であった。
- ・中学校は2校ともほぼ同じような回答率である。そして、両校とも「入学させたい」回答率が50%以上あった。しかし、小中学校共に「わからない」の回答が多いだけに、今後の取組みによって「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

7 本町では現在、慶應大学との連携協力協定事業の一つとして「油木高校魅力化プロジェクト」に取り組み、具体策の検討中ですが、この事業にどの程度期待感をもっておられますか。



考察 ・小中の保護者全体では、「大変期待している」・「期待している」の肯定的回答が66%で、50%以上ではあるが、教職員の回答（84%）よりもかなり低い。これは、本事業の中身が现阶段では十分に把握できていないことによるものと考えられる。

- ・小中別保護者でも、それぞれの回答数値にあまり差はない
- ・今後において、本事業は「油木高校の魅力づくり」だけに、その中身を地域・関係者等へしっかりと情報提供（情報紙の配布、説明会等の実施 など）していく必要がある。

V. 町内地域に係るアンケート調査の結果と考察

- 1 下欄(1)～(4)の連携型中高一貫教育に関連する行事で、本年度参加されたものがあれば、該当番号に○印で教えてください。(複数回答可) 注：(4)の①～⑨の中で該当する番号にすべて○印で教えてください。(複数回答可)

- (1) 「連携型中高一貫教育支援会議」総会(6月26日)
 (2) 「油木高校を育てる会」理事会(7月24日) (3) 中高一貫教育講演会(11月13日)
 (4) 油木高校に係る行事
 ① 学園祭(6月17・18日) ② 体育祭(9月19日)
 ③ 農業系の発表会(農業クラブ意見発表会など) ④ 部活動等の大会(地区、県、全国大会など)
 ⑤ 総合的な学習成果発表会(「明日ある我ら」発表会) ⑥ ヒューマンフェスタ(11月5日)
 ⑦ 油木高校教育成果発表会(12月20日) ⑧ 油木高校ナマズ料理の日(毎月第4日曜日)
 ⑨ その他【 】

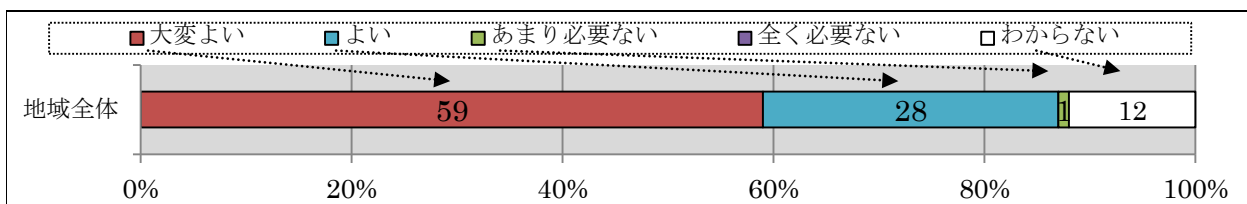
◀ **回答頂いた方は 70名/102名(69%)でした。** その中で参加された人数内訳は次の通りです。 ▶

行事名	(1) 支援会議総会	(2) 油木高校を育てる会理事会	(3) 中高一貫教育講演会	(4) 油木高校に係る行事									
				① 学園祭	② 体育祭	③ 農業系発表会	④ 部活動	⑤ 学習成果発表	⑥ ヒューマンフェスタ	⑦ 油高教育成果発表会	⑧ 油高ナマズ日	⑨ その他	
参加人数	本年	36人	13人	33人	18人	12人	7人	10人	10人	21人	14人	9人	8人
	昨年	47人	21人	31人	10人	12人	2人	7人	8人	19人		7人	4人

入学式、卒業式、防犯講話、野球後援会活動、同窓会総会、市民球場ナマズ販売、町教育研究会、イグ リックフェスタ

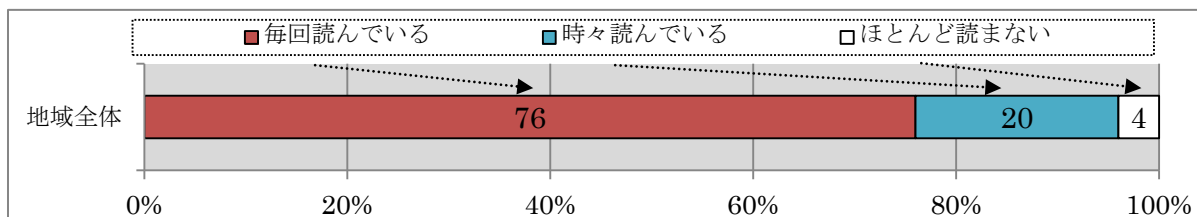
考察 地域編のアンケート調査は中高一貫教育支援会議役員を対象に実施し、回答者70人(昨年:97人)で、その内、支援会議主催行事への参加者は「(1)支援会議総会」が36人、「(3)中高一貫教育講演会」が33人であった。また、油木高校の色々な行事に毎年熱心にご参加いただいております。地域の温かいご理解とご支援に感謝し、中高一貫教育が更に発展するよう努力していく必要がある。昨年の反省点で、「行事は連携校同士の同一日開催は避けて欲しい」との要望が多数あり、本年度このようなことがないように努力されたが、なかなか難しいこともある。

- 2 油木高校と町内中学校との連携教育(例:中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など)が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



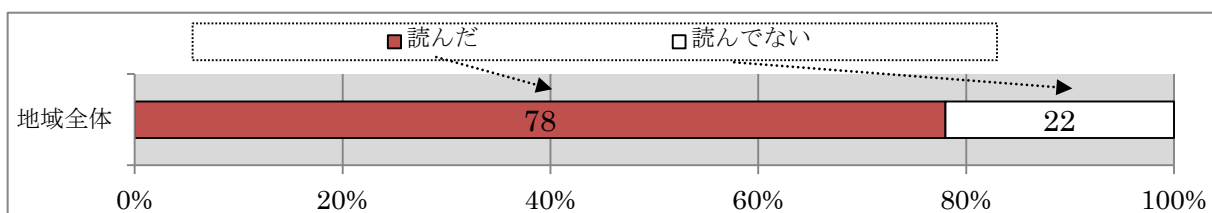
考察 地域の多くの方々(87%)は、中高連携教育を「よい」とする肯定的回答であるが、極少数ながら「あまり必要ない」との否定的回答もあり、今後更なる中身の充実を図り、情報提供していく必要がある。

③ 広報紙「連携型中高一貫教育ジャーナル『高原の風』」を年3回町内全戸に配布していますが、読まれていますか。



考察 「毎回読んでいる」が76%と前年度と同じ数値で、多くの方々に読んで頂いている。今後一層「毎回読んでいる」が向上していくよう中身の充実に努めていかなければならない。

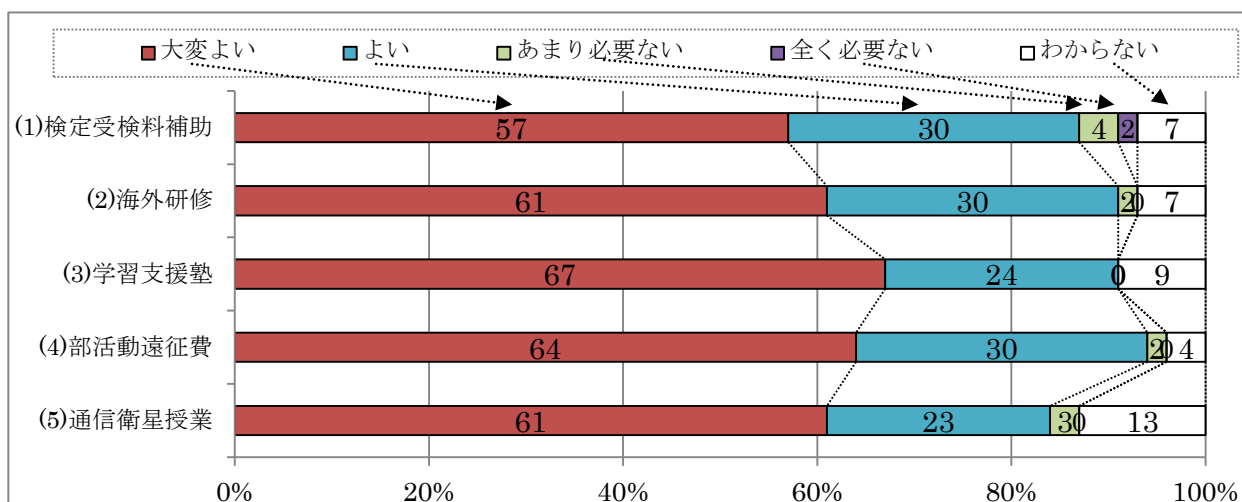
④ 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への10の支援』リーフレットを読まれましたか。



考察 本年度も多くの方々(78%)に読んで頂いているが、「読んでない」が22%あることや、この「10の支援」は、油木高校の魅力でもあるので、しっかりと地域の方々に知ってもらい、意見も頂きながら検討していくためにも、リーフレットの配布は今後も継続していかなければならないと考える。

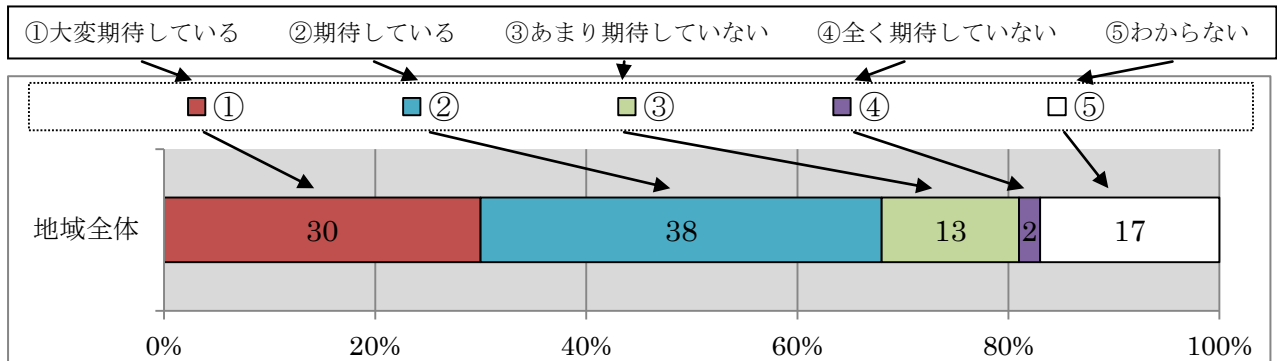
⑤ 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

- (1) 各種検定の受検料補助(合格者のみ)について、どう思いますか。
- (2) 海外短期(語学・農業)研修事業への支援について、どう思いますか。
- (3) 油木高校内での学習支援塾の開設について、どう思いますか。
- (4) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。
- (5) 大手予備校の通信衛星授業の受信補助について、どう思いますか。



考察 各項目とも「大変よい」「よい」を合わせて80%以上を占めており、肯定的回答が非常に多い。しかも「大変よい」がだいたい60%以上あり、最も多い。
この数値が示すように、地域住民の期待も大きいことから、今後もこれらの支援は継続していく必要がある。

⑥ 本町では現在、慶應大学との連携協力協定事業の一つとして「油木高校魅力化プロジェクト」に取り組み、具体策の検討中ですが、この事業にどの程度期待感をもっておられますか。



考察 ・地域全体では、「大変期待している」・「期待している」の肯定的回答が 68%と小中学校保護者と同様（66%）で50%以上ではあるが、教職員の回答（84%）よりもかなり低い。これは、本事業の中身が現段階では十分に把握できていないことによるものとする。

今後において、本事業は「油木高校の魅力づくり」だけに、その中身を地域・関係者等へしっかりと情報提供（情報紙の配布、説明会等の実施 など）していく必要がある。